

通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド －イーグルアイⅡ－ 予想分配金提示型

日本円・コース／豪ドル・コース／
ブラジル・リアル・コース／
米ドル・コース／通貨セレクト・コース

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式
信託期間	約10年間（2013年8月20日～2023年8月28日）
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	<p>イ. ケイマン籍の外国投資信託「ダイワ・プレミアム・トラスト・ダイワ／ハリス US コンセントレイテッド・ケイマン（※1）」（以下「US コンセントレイテッド・ケイマン（※1）」といいます。）の受益証券（円建）</p> <p>ロ. ダイワ・マネーストック・マザーファンドの受益証券（※1）は、以下の各コースにおいて、次のように読み替えるものとします。</p> <p>「日本円・コース」の場合……日本円・クラス 「豪ドル・コース」の場合……豪ドル・クラス 「ブラジル・リアル・コース」の場合……ブラジル・リアル・クラス 「米ドル・コース」の場合……米ドル・クラス 「通貨セレクト・コース」の場合……通貨セレクト・クラス</p>
組入制限	投資信託証券への投資割合には、制限を設けません。
分配方針	<p>分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、分配対象額の範囲内で、下記イ. およびロ. に基づき分配します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。</p> <p>イ. 計算期末の前営業日の基準価額（1万口当たり。既払分配金を加算しません。）が10,500円未満の場合、原則として、主要投資対象とする外国投資信託における配当収入等相当分から経費（外国投資信託の経費を含みます。）を控除した額を分配することをめざします。</p> <p>ロ. 計算期末の前営業日の基準価額が10,500円以上の場合、原則として、当該基準価額に応じ、下記の金額（1万口当たり）を分配することをめざします。</p> <p>a. 10,500円以上11,000円未満の場合…300円 b. 11,000円以上11,500円未満の場合…350円 c. 11,500円以上12,000円未満の場合…400円 d. 12,000円以上12,500円未満の場合…450円 e. 12,500円以上の場合……………500円</p> <p>なお、計算期末の前営業日から当該計算期末までに基準価額が急激に変動した場合等には、上記の分配を行わないことがあります。</p>

運用報告書（全体版）

第26期（決算日 2020年2月28日）

第27期（決算日 2020年5月28日）

（作成対象期間 2019年11月29日～2020年5月28日）

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、米国の株式の中から、割安と判断される銘柄を厳選して集中投資することにより信託財産の成長をめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

<5770>

お問い合わせ先（コールセンター）

<5771>

TEL 0120-106212

<5772>

（営業日の9:00～17:00）

<5773>

<https://www.daiwa-am.co.jp/>

<5774>

日本円・コース

最近10期の運用実績

決算期	基準価額			S & P 500指数 (米ドルベース)		公社債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率	純資産 総額
	(分配落)	税込み 分配金	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率			
18期末(2018年2月28日)	円 10,700	円 350	% 5.8	16,672	% 5.5	% 0.0	% 97.8	百万円 432
19期末(2018年5月28日)	10,245	0	△ 4.3	16,532	△ 0.8	—	95.2	413
20期末(2018年8月28日)	10,512	300	5.5	17,598	6.4	—	97.9	423
21期末(2018年11月28日)	9,426	0	△ 10.3	16,294	△ 7.4	—	98.7	365
22期末(2019年2月28日)	10,127	0	7.4	16,964	4.1	—	95.5	381
23期末(2019年5月28日)	9,849	0	△ 2.7	17,169	1.2	—	94.9	328
24期末(2019年8月28日)	9,640	0	△ 2.1	17,430	1.5	—	95.4	311
25期末(2019年11月28日)	10,481	300	11.8	19,159	9.9	—	94.1	318
26期末(2020年2月28日)	9,862	0	△ 5.9	18,096	△ 5.5	—	93.7	275
27期末(2020年5月28日)	9,592	0	△ 2.7	18,445	1.9	—	98.0	261

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) S & P 500指数(米ドルベース)は、同指数の原データをもとに、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。S & P 500指数(米ドルベース)の所有権およびその一切の権利は、S & P Dow Jones Indices LLCが有しています。S & P Dow Jones Indices LLCは、同指数の算出にかかる誤謬等に関し、いかなる者に対しても責任を負うものではありません。

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

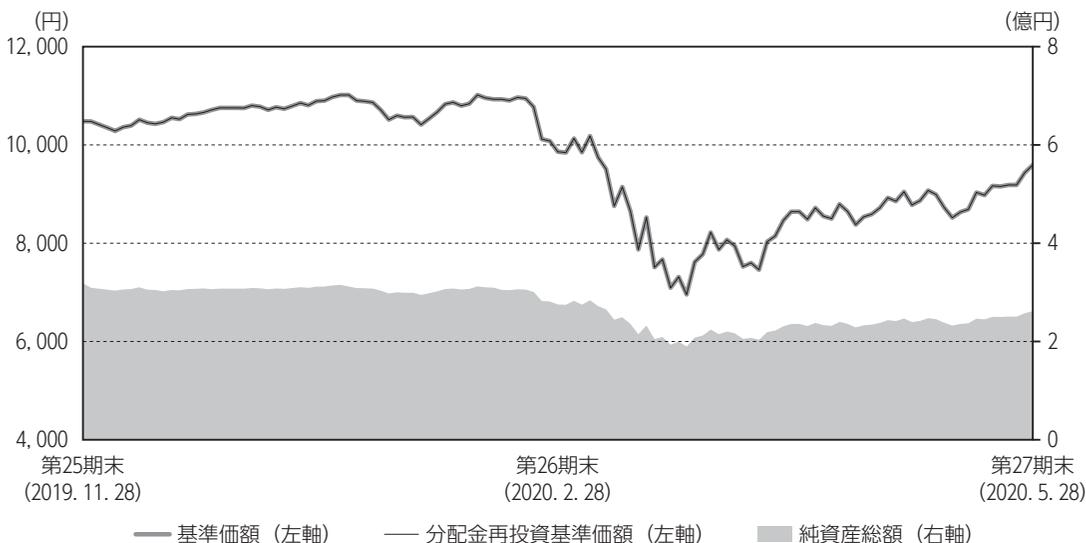
(注5) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注6) 公社債組入比率は新株予約権付社債券(転換社債券)および債券先物を除きます。



運用経過

基準価額等の推移について



* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

基準価額・騰落率

第26期首：10,481円

第27期末：9,592円（既払分配金0円）

騰落率：△8.5%（分配金再投資ベース）

基準価額の主な変動要因

米国株式市況が下落したことなどがマイナス要因となり、基準価額は下落しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド -イーグルアイII- 予想分配金提示型 日本円・コース

	年 月 日	基 準 価 額		S & P 500指数 (米ドルベース)		公 社 債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率
		円	騰 落 率 %	(参考指数)	騰 落 率 %		
第26期	(期首) 2019年11月28日	10,481	—	19,159	—	—	94.1
	11月末	10,480	△ 0.0	19,159	0.0	—	96.9
	12月末	10,778	2.8	19,683	2.7	—	98.2
	2020年1月末	10,568	0.8	19,949	4.1	—	97.9
	(期末) 2020年2月28日	9,862	△ 5.9	18,096	△ 5.5	—	93.7
第27期	(期首) 2020年2月28日	9,862	—	18,096	—	—	93.7
	3月末	8,069	△ 18.2	15,957	△ 11.8	—	97.5
	4月末	8,855	△ 10.2	17,858	△ 1.3	—	97.8
	(期末) 2020年5月28日	9,592	△ 2.7	18,445	1.9	—	98.0

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

(2019. 11. 29 ~ 2020. 5. 28)

■ 米国株式市況

米国株式市況は下落しました。

米国株式市況は、当作成期首から2020年1月中旬にかけては、米中通商協議が進展して第1段階の合意が署名されたことなどから、上昇基調で推移しました。しかし1月下旬に、中国において新型コロナウイルスの感染拡大が懸念され株価が下落したことに続き、2月後半以降は中国以外における感染拡大が懸念され、株価は2月後半から3月中旬にかけて大幅に下落しました。その後は、米国での大規模な経済対策案をはじめとした各国の大胆な景気刺激策への期待や、新型コロナウイルスの感染拡大抑制策で行われた都市封鎖が徐々に解除される中で経済活動再開への期待感が醸成されたことなどから、下げ幅を縮小しました。

■ 短期金利市況

日銀は、金融緩和策を継続し、短期金利はマイナス圏で推移しました。

米国では、2020年3月に連続で大幅に利下げを実施し、政策金利の誘導目標レンジを1.50~1.75%から0.00~0.25%に引き下げました。

前作成期末における「今後の運用方針」

■ 当ファンド

今後も、US コンセントレイテッド・ケイマン（日本円・クラス）とダイワ・マネーストック・マザーファンドに投資します。また、US コンセントレイテッド・ケイマン（日本円・クラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

※US コンセントレイテッド・ケイマン（日本円・クラス）：ダイワ・プレミアム・トラストーダイワ／ハリス US コンセントレイテッド・ケイマン（日本円・クラス）

■ US コンセントレイテッド・ケイマン（日本円・クラス）

ボトムアップによる企業リサーチをもとに、財務内容が強固であり、経営陣が有能で、長期的にキャッシュフロー成長が見込まれる企業の中から、企業の本源的価値と比較して割安に放置されている銘柄に厳選投資していきます。引き続き、一時的な株価調整局面は企業の本源的価値に対して割安な水準で投資する機会と捉え、短期的な損益ではなく、長期投資のリターンを追求していきます。原則として、米ドル建ての資産に対して、米ドル売り／日本円買いの為替ヘッジを行います。

■ ダイワ・マネーストック・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

ポートフォリオについて

(2019. 11. 29 ~ 2020. 5. 28)

■当ファンド

当ファンドは、US コンセントレイテッド・ケイマン（日本円・クラス）とダイワ・マネーストック・マザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズです。US コンセントレイテッド・ケイマン（日本円・クラス）への投資割合は、信託財産の純資産総額の95%程度以上とすることをめざしました。

■US コンセントレイテッド・ケイマン（日本円・クラス）

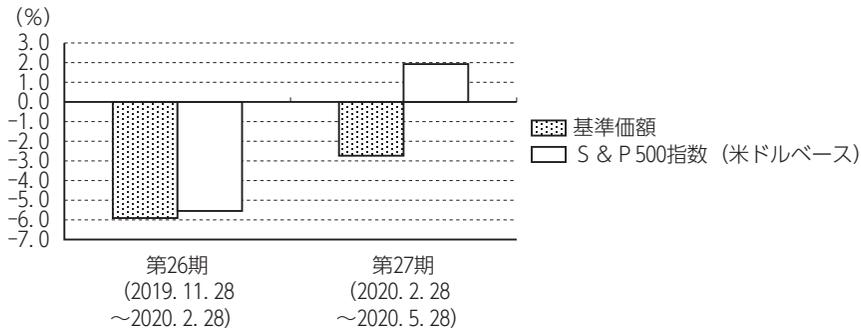
US コンセントレイテッド・ケイマン（日本円・クラス）の受益証券においては、株式組入比率をおおむね90%以上の高位に維持しました。銘柄選択にあたって、ハリス・アソシエイツ・エル・ピーでは、独自に算出する投資対象企業の本源的価値と比較して著しく割安な銘柄に厳選投資することを基本方針としています。引き続き、財務内容が健全であり、経営陣の質が高く、企業の本源的価値と比較して割安に放置されている企業に厳選投資しました。セクター別では、コミュニケーション・サービスや金融を高位で組み入れました。銘柄別では、ALPHABET（コミュニケーション・サービス）、HILTON WORLDWIDE HOLDINGS（一般消費財・サービス）、CBRE GROUP（不動産）などを高位で組み入れました。また、米ドル建ての資産に対して、米ドル売り／日本円買いの為替ヘッジを行いました。

■ダイワ・マネーストック・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、コール・ローン等による運用を行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。
以下のグラフは当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



分配金について

当作成期は、分配方針通り、基準価額の水準等を勘案し、収益分配を見送らせていただきました。
なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	第26期	第27期
	2019年11月29日 ~2020年2月28日	2020年2月29日 ~2020年5月28日
当期分配金（税込み） (円)	—	—
対基準価額比率 (%)	—	—
当期の収益 (円)	—	—
当期の収益以外 (円)	—	—
翌期繰越分配対象額 (円)	662	662

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てしており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。



今後の運用方針

■当ファンド

今後も、US コンセントレイテッド・ケイマン（日本円・クラス）とダイワ・マネーストック・マザーファンドに投資します。また、US コンセントレイテッド・ケイマン（日本円・クラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

■US コンセントレイテッド・ケイマン（日本円・クラス）

ボトムアップによる企業リサーチをもとに、財務内容が強固であり、経営陣が有能で、長期的にキャッシュフロー成長が見込まれる企業の中から、企業の本源的価値と比較して割安に放置されている銘柄に厳選投資していきます。引き続き、一時的な株価調整局面は企業の本源的価値に対して割安な水準で投資する機会と捉え、短期的な損益ではなく、長期投資のリターンを追求していきます。原則として、米ドル建ての資産に対して、米ドル売り／日本円買いの為替ヘッジを行います。

■ダイワ・マネーストック・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

1万口当りの費用の明細

項 目	第26期～第27期 (2019. 11. 29～2020. 5. 28)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	59円	0.616%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は9,640円です。
(投 信 会 社)	(21)	(0.219)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(37)	(0.383)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(1)	(0.014)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0.004	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(0)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	60	0.620	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

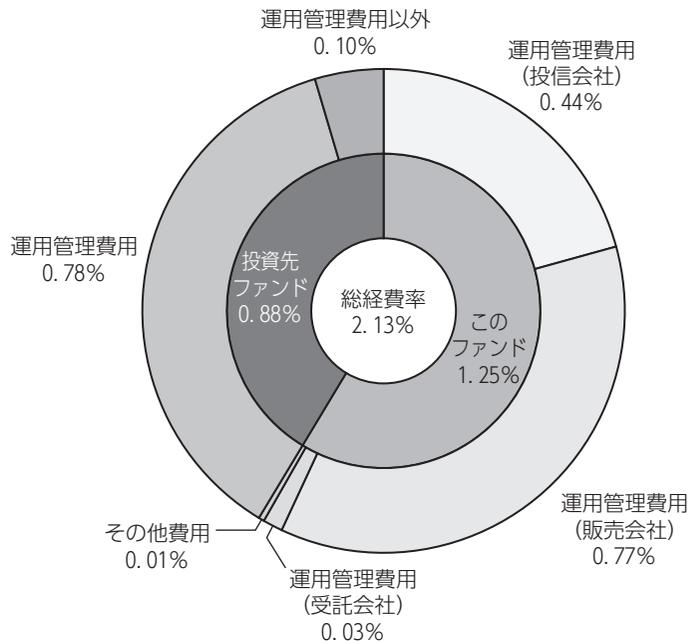
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は2.13%です。



総経費率（① + ② + ③）	2.13%
①このファンドの費用の比率	1.25%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.78%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.10%

(注1) ①の費用は、1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 投資先ファンドとは、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注5) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注6) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

■売買および取引の状況
投資信託受益証券

(2019年11月29日から2020年5月28日まで)

決算期	第26期～第27期			
	買付		売付	
	□数	金額	□数	金額
外国 (邦貨建)	千口 97.75438	千円 14,359	千口 228.73442	千円 34,000

(注1) 買付は、外国投資信託から支払われた分配金による再投資分を含みます。

(注2) 金額は受渡し代金。

(注3) 金額の単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄
投資信託受益証券

(2019年11月29日から2020年5月28日まで)

第26期～				第27期			
買付		平均単価		売付		平均単価	
銘柄	□数	金額	円	銘柄	□数	金額	円
US CONCENTRATED CAYMAN JPY CLASS (ケイマン諸島)	千口 94.94812	千円 14,000	円 147	US CONCENTRATED CAYMAN JPY CLASS (ケイマン諸島)	千口 228.73442	千円 34,000	円 148

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組み入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	第27期末		
	□数	評価額	比率
外国投資信託受益証券 (ケイマン諸島) US CONCENTRATED CAYMAN JPY CLASS	千口 1,798.80282	千円 256,516	% 98.0

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種類	第25期末	第27期末	
	□数	□数	評価額
ダイワ・マネースtock・マザーファンド	千口 300	千口 300	千円 300

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2020年5月28日現在

項目	第27期末	
	評価額	比率
投資信託受益証券	千円 256,516	% 97.7
ダイワ・マネースtock・マザーファンド	300	0.1
コール・ローン等、その他	5,617	2.2
投資信託財産総額	262,434	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2020年2月28日)、(2020年5月28日)現在

項目	第26期末	第27期末
(A) 資産	276,252,170円	262,434,315円
コール・ローン等	18,140,399	5,617,175
投資信託受益証券(評価額)	257,811,078	256,516,477
ダイワ・マネーストック・マザーファンド(評価額)	300,693	300,663
(B) 負債	967,697	727,817
未払解約金	8,139	—
未払信託報酬	953,250	716,755
その他未払費用	6,308	11,062
(C) 純資産総額(A-B)	275,284,473	261,706,498
元本	279,150,451	272,836,900
次期繰越損益金	△ 3,865,978	△ 11,130,402
(D) 受益権総口数	279,150,451口	272,836,900口
1万口当り基準価額(C/D)	9,862円	9,592円

*第25期末における元本額は304,099,977円、当作成期間(第26期~第27期)中における追加設定元本額は1,434,326円、同解約元本額は32,697,403円です。

*第27期末の計算口数当りの純資産額は9,592円です。

*第27期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は11,130,402円です。

■損益の状況

第26期 自 2019年11月29日 至 2020年2月28日
第27期 自 2020年2月29日 至 2020年5月28日

項目	第26期	第27期
(A) 配当等収益	△ 544円	358,547円
受取配当金	—	359,199
受取利息	30	18
支払利息	△ 574	△ 670
(B) 有価証券売買損益	△ 16,330,375	△ 6,945,696
売買益	469,975	682,595
売買損	△ 16,800,350	△ 7,628,291
(C) 信託報酬等	△ 959,558	△ 721,515
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 17,290,477	△ 7,308,664
(E) 前期繰越損益金	11,484,099	△ 5,670,050
(F) 追加信託差損益金	1,940,400	1,848,312
(配当等相当額)	(7,003,760)	(6,855,235)
(売買損益相当額)	(△ 5,063,360)	(△ 5,006,923)
(G) 合計(D+E+F)	△ 3,865,978	△ 11,130,402
次期繰越損益金(G)	△ 3,865,978	△ 11,130,402
追加信託差損益金	1,940,400	1,848,312
(配当等相当額)	(7,003,760)	(6,855,235)
(売買損益相当額)	(△ 5,063,360)	(△ 5,006,923)
分配準備積立金	11,484,776	11,215,127
繰越損益金	△ 17,291,154	△ 24,193,841

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程(総額)」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程(総額)

項目	第26期	第27期
(a) 経費控除後の配当等収益	0円	0円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0
(c) 収益調整金	7,003,760	6,855,235
(d) 分配準備積立金	11,484,776	11,215,127
(e) 当期分配対象額(a+b+c+d)	18,488,536	18,070,362
(f) 分配金	0	0
(g) 翌期繰越分配対象額(e-f)	18,488,536	18,070,362
(h) 受益権総口数	279,150,451口	272,836,900口

《お知らせ》

■商号変更について

大和証券投資信託委託株式会社は、2020年4月1日付で、商号を「大和アセットマネジメント株式会社」に変更いたしました。

豪ドル・コース

最近10期の運用実績

決算期	基準価額			S & P 500指数 (米ドルベース)		豪ドル為替レート		公社債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率	純資産 総額
	(分配落)	税込み 分配金	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率			
	円	円	%		%	円	%	%	%	百万円
18期末(2018年2月28日)	10,627	350	5.5	16,672	5.5	83.66	△ 0.9	0.0	98.0	290
19期末(2018年5月28日)	10,046	0	△ 5.5	16,532	△ 0.8	82.80	△ 1.0	—	95.5	265
20期末(2018年8月28日)	10,522	0	4.7	17,598	6.4	81.75	△ 1.3	—	96.0	265
21期末(2018年11月28日)	9,542	0	△ 9.3	16,294	△ 7.4	82.26	0.6	—	98.7	242
22期末(2019年2月28日)	9,930	0	4.1	16,964	4.1	79.34	△ 3.5	—	99.0	249
23期末(2019年5月28日)	9,260	0	△ 6.7	17,169	1.2	75.88	△ 4.4	—	95.6	203
24期末(2019年8月28日)	8,601	0	△ 7.1	17,430	1.5	71.38	△ 5.9	—	98.5	144
25期末(2019年11月28日)	9,985	0	16.1	19,159	9.9	74.00	3.7	—	95.4	145
26期末(2020年2月28日)	9,160	0	△ 8.3	18,096	△ 5.5	71.94	△ 2.8	—	94.2	121
27期末(2020年5月28日)	8,612	0	△ 6.0	18,445	1.9	71.54	△ 0.6	—	99.0	114

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) S & P 500指数(米ドルベース)は、同指数の原データをもとに、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。S & P 500指数(米ドルベース)の所有権およびその他一切の権利は、S & P Dow Jones Indices LLCが有しています。S & P Dow Jones Indices LLCは、同指数の算出にかかる誤謬等に関し、いかなる者に対しても責任を負うものではありません。

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 為替レートは、計算日における対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートを採用しています。

(注5) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

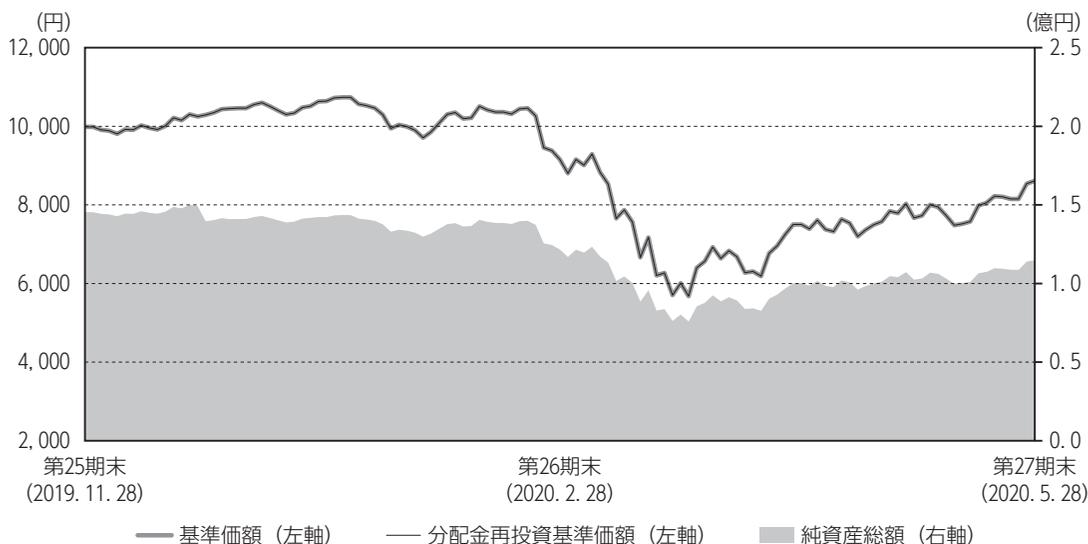
(注6) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注7) 公社債組入比率は新株予約権付社債券(転換社債券)および債券先物を除きます。



運用経過

基準価額等の推移について



* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

基準価額・騰落率

第26期首：9,985円

第27期末：8,612円（既払分配金0円）

騰落率：△13.8%（分配金再投資ベース）

基準価額の主な変動要因

米国株式市況が下落したことや豪ドルが対円で下落（円高）したことなどがマイナス要因となり、基準価額は下落しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド -イーグルアイII- 予想分配金提示型 豪ドル・コース

	年 月 日	基 準 価 額		S & P 500指数 (米ドルベース)		豪ドル為替レート		公 社 債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率
		円	騰落率	(参考指数)	騰落率	(参考指数)	騰落率		
第26期	(期首) 2019年11月28日	9,985	—	19,159	—	74.00	—	—	95.4
	11月末	9,984	△ 0.0	19,159	0.0	74.14	0.2	—	95.4
	12月末	10,602	6.2	19,683	2.7	76.52	3.4	—	99.0
	2020年1月末	9,899	△ 0.9	19,949	4.1	73.29	△ 1.0	—	98.4
	(期末) 2020年2月28日	9,160	△ 8.3	18,096	△ 5.5	71.94	△ 2.8	—	94.2
第27期	(期首) 2020年2月28日	9,160	—	18,096	—	71.94	—	—	94.2
	3月末	6,834	△ 25.4	15,957	△ 11.8	66.09	△ 8.1	—	98.5
	4月末	7,789	△ 15.0	17,858	△ 1.3	69.84	△ 2.9	—	98.7
	(期末) 2020年5月28日	8,612	△ 6.0	18,445	1.9	71.54	△ 0.6	—	99.0

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

(2019. 11. 29 ~ 2020. 5. 28)

■米国株式市況

米国株式市況は下落しました。

米国株式市況は、当作成期首から2020年1月中旬にかけては、米中通商協議が進展して第1段階の合意が署名されたことなどから、上昇基調で推移しました。しかし1月下旬に、中国において新型コロナウイルスの感染拡大が懸念され株価が下落したことに続き、2月後半以降は中国以外における感染拡大が懸念され、株価は2月後半から3月中旬にかけて大幅に下落しました。その後は、米国での大規模な経済対策法案をはじめとした各国の大胆な景気刺激策への期待や、新型コロナウイルスの感染拡大抑制策で行われた都市封鎖が徐々に解除される中で経済活動再開への期待感が醸成されたことなどから、下げ幅を縮小しました。

■為替相場

豪ドルは対円で下落しました。

豪ドル対円為替相場は、当作成期首から2020年1月中旬にかけては、米中貿易摩擦懸念の後退などがポジティブ材料となったものの、2019年より続いていた森林火災が深刻化し経済活動への懸念が高まったことなどがマイナス材料となり、一進一退の展開となりました。1月下旬以降は、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大や都市封鎖に伴う景気見通しの悪化などから豪ドルは対円で大幅に下落しましたが、他国と比較して新型コロナウイルスの感染拡大抑制に成功していることなどが好感され、下げ幅を縮小しました。

■短期金利市況

RBA（オーストラリア準備銀行）は、政策金利を0.75%から0.25%に引き下げました。

米国では、2020年3月に連続で大幅に利下げを実施し、政策金利の誘導目標レンジを1.50~1.75%から0.00~0.25%に引き下げました。

前作成期末における「今後の運用方針」

■当ファンド

今後も、US コンセントレイテッド・ケイマン（豪ドル・クラス）とダイワ・マネーストック・マザーファンドに投資します。また、US コンセントレイテッド・ケイマン（豪ドル・クラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

※US コンセントレイテッド・ケイマン（豪ドル・クラス）：ダイワ・プレミアム・トラストーダイワ／ハリス US コンセントレイテッド・ケイマン（豪ドル・クラス）

■US コンセントレイテッド・ケイマン（豪ドル・クラス）

ボトムアップによる企業リサーチをもとに、財務内容が強固であり、経営陣が有能で、長期的にキャッシュフロー成長が見込まれる企業の中から、企業の本源的価値と比較して割安に放置されている銘柄に厳選投資していきます。引き続き、一時的な株価調整局面は企業の本源的価値に対して割安な水準で投資する機会と捉え、短期的な損益ではなく、長期投資のリターンを追求していきます。原則として、米ドル建ての資産に対して、米ドル売り／豪ドル買いの為替取引を行います。

■ダイワ・マネーストック・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

ポートフォリオについて

(2019. 11. 29 ~ 2020. 5. 28)

■当ファンド

当ファンドは、US コンセントレイテッド・ケイマン（豪ドル・クラス）とダイワ・マネーストック・マザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズです。US コンセントレイテッド・ケイマン（豪ドル・クラス）への投資割合は、信託財産の純資産総額の95%程度以上とすることをめざしました。

■US コンセントレイテッド・ケイマン（豪ドル・クラス）

US コンセントレイテッド・ケイマン（豪ドル・クラス）の受益証券においては、株式組入比率をおおむね90%以上の高位に維持しました。銘柄選択にあたって、ハリス・アソシエイツ・エル・ピーでは、独自に算出する投資対象企業の本源的価値と比較して著しく割安な銘柄に厳選投資することを基本方針としています。引き続き、財務内容が健全であり、経営陣の質が高く、企業の本源的価値と比較して割安に放置されている企業に厳選投資しました。セクター別では、コミュニ

ケーション・サービスや金融を高位で組み入れました。銘柄別では、ALPHABET（コミュニケーション・サービス）、HILTON WORLDWIDE HOLDINGS（一般消費財・サービス）、CBRE GROUP（不動産）などを高位で組み入れました。また、米ドル建ての資産に対して、米ドル売り／豪ドル買いの為替取引を行いました。

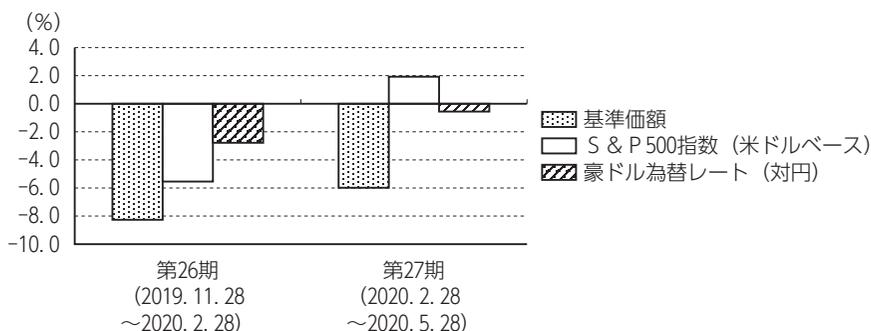
■ダイワ・マネースtock・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、コール・ローン等による運用を行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



分配金について

当作成期は、分配方針通り、基準価額の水準等を勘案し、収益分配を見送らせていただきました。なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■ 分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	第26期		第27期	
	2019年11月29日 ～2020年2月28日		2020年2月29日 ～2020年5月28日	
当期分配金（税込み）	（円）	—	—	—
対基準価額比率	（％）	—	—	—
当期の収益	（円）	—	—	—
当期の収益以外	（円）	—	—	—
翌期繰越分配対象額	（円）	937	937	937

（注1）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

（注2）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

（注3）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。



今後の運用方針

■ 当ファンド

今後も、US コンセントレイテッド・ケイマン（豪ドル・クラス）とダイワ・マネースtock・マザーファンドに投資します。また、US コンセントレイテッド・ケイマン（豪ドル・クラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

■ US コンセントレイテッド・ケイマン（豪ドル・クラス）

ボトムアップによる企業リサーチをもとに、財務内容が強固であり、経営陣が有能で、長期的にキャッシュフロー成長が見込まれる企業の中から、企業の本源的価値と比較して割安に放置されている銘柄に厳選投資していきます。引き続き、一時的な株価調整局面は企業の本源的価値に対して割安な水準で投資する機会と捉え、短期的な損益ではなく、長期投資のリターンを追求していきます。原則として、米ドル建ての資産に対して、米ドル売り／豪ドル買いの為替取引を行います。

■ ダイワ・マネースtock・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

1万口当りの費用の明細

項 目	第26期～第27期 (2019. 11. 29～2020. 5. 28)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	55円	0.616%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は8,850円です。
(投 信 会 社)	(19)	(0.219)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(34)	(0.384)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(1)	(0.014)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0.004	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(0)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	55	0.620	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

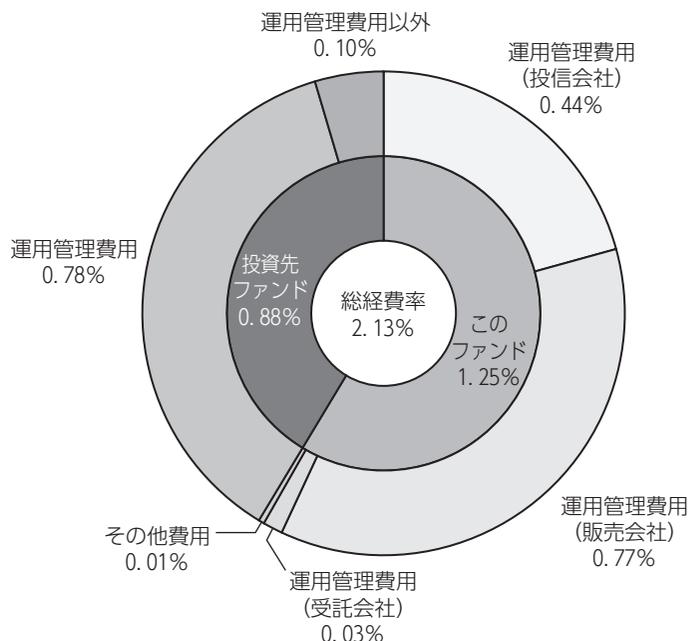
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は2.13%です。



総経費率 (① + ② + ③)	2.13%
①このファンドの費用の比率	1.25%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.78%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.10%

(注1) ①の費用は、1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 投資先ファンドとは、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注5) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注6) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

■売買および取引の状況

投資信託受益証券

(2019年11月29日から2020年5月28日まで)

決算期	第26期～第27期			
	買付		売付	
	□数	金額	□数	金額
外国 (邦貨建)	千口 61,89757	千円 6,217	千口 114,64455	千円 14,000

(注1) 買付は、外国投資信託から支払われた分配金による再投資分を含みます。

(注2) 金額は受渡し代金。

(注3) 金額の単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄

投資信託受益証券

(2019年11月29日から2020年5月28日まで)

第26期				第27期			
買付		売付		買付		売付	
銘柄	□数	金額	平均単価	銘柄	□数	金額	平均単価
US CONCENTRATED CAYMAN AUD CLASS (ケイマン諸島)	千口 59,51587	千円 6,000	円 100	US CONCENTRATED CAYMAN AUD CLASS (ケイマン諸島)	千口 114,64455	千円 14,000	円 122

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組み入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	第27期末		
	□数	評価額	比率
外国投資信託受益証券 (ケイマン諸島) US CONCENTRATED CAYMAN AUD CLASS	千口 1,087,87443	千円 113,778	% 99.0

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種類	第25期末	第27期末	
	□数	□数	評価額
ダイワ・マネースtock・マザーファンド	千口 200	千口 200	千円 201

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2020年5月28日現在

項目	第27期末	
	評価額	比率
投資信託受益証券	千円 113,778	% 98.8
ダイワ・マネースtock・マザーファンド	201	0.2
コール・ローン等、その他	1,204	1.0
投資信託財産総額	115,184	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2020年2月28日)、(2020年5月28日)現在

項目	第26期末	第27期末
(A) 資産	122,040,925円	115,184,564円
コール・ローン等	7,233,038	1,204,832
投資信託受益証券(評価額)	114,606,745	113,778,610
ダイワ・マネースtock・マザーファンド(評価額)	201,142	201,122
(B) 負債	440,361	308,652
未払信託報酬	437,490	303,798
その他未払費用	2,871	4,854
(C) 純資産総額(A-B)	121,600,564	114,875,912
元本	132,753,534	133,397,565
次期繰越損益金	△ 11,152,970	△ 18,521,653
(D) 受益権総口数	132,753,534口	133,397,565口
1万口当り基準価額(C/D)	9,160円	8,612円

* 第25期末における元本額は145,604,889円、当作成期間(第26期~第27期)中における追加設定元本額は902,317円、同解約元本額は13,109,641円です。

* 第27期末の計算口数当りの純資産額は8,612円です。

* 第27期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は18,521,653円です。

■損益の状況

第26期 自 2019年11月29日 至 2020年2月28日

第27期 自 2020年2月29日 至 2020年5月28日

項目	第26期	第27期
(A) 配当等収益	△ 270円	216,946円
受取配当金	—	217,099
受取利息	21	3
支払利息	△ 291	△ 156
(B) 有価証券売買損益	△ 10,510,039	△ 7,024,635
売買益	316,780	20,298
売買損	△ 10,826,819	△ 7,044,933
(C) 信託報酬等	△ 440,361	△ 305,782
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 10,950,670	△ 7,113,471
(E) 前期繰越損益金	△ 1,495,726	△ 12,430,382
(F) 追加信託差損益金	1,293,426	1,022,200
(配当等相当額)	(6,202,498)	(6,270,876)
(売買損益相当額)	(△ 4,909,072)	(△ 5,248,676)
(G) 合計(D+E+F)	△ 11,152,970	△ 18,521,653
次期繰越損益金(G)	△ 11,152,970	△ 18,521,653
追加信託差損益金	1,293,426	1,022,200
(配当等相当額)	(6,202,498)	(6,270,876)
(売買損益相当額)	(△ 4,909,072)	(△ 5,248,676)
分配準備積立金	6,237,473	6,229,448
繰越損益金	△ 18,683,869	△ 25,773,301

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程(総額)」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程(総額)

項目	第26期	第27期
(a) 経費控除後の配当等収益	0円	0円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0
(c) 収益調整金	6,202,498	6,270,876
(d) 分配準備積立金	6,237,473	6,229,448
(e) 当期分配対象額(a+b+c+d)	12,439,971	12,500,324
(f) 分配金	0	0
(g) 翌期繰越分配対象額(e-f)	12,439,971	12,500,324
(h) 受益権総口数	132,753,534口	133,397,565口

《お知らせ》

■商号変更について

大和証券投資信託委託株式会社は、2020年4月1日付で、商号を「大和アセットマネジメント株式会社」に変更いたしました。

ブラジル・リアル・コース

最近10期の運用実績

決算期	基準価額			S & P 500指数 (米ドルベース)		ブラジル・リアル 為替レート		公社債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率	純資産 総額
	(分配落)	税込み 分配金	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率			
	円	円	%		%	円	%	%	%	百万円
18期末(2018年2月28日)	10,440	300	2.5	16,672	5.5	33.02	△ 4.0	0.0	97.8	686
19期末(2018年5月28日)	9,070	70	△ 12.5	16,532	△ 0.8	29.98	△ 9.2	—	98.6	477
20期末(2018年8月28日)	8,814	90	△ 1.8	17,598	6.4	27.24	△ 9.1	—	98.5	409
21期末(2018年11月28日)	8,513	60	△ 2.7	16,294	△ 7.4	29.35	7.7	—	98.4	341
22期末(2019年2月28日)	9,326	50	10.1	16,964	4.1	29.72	1.3	—	97.7	323
23期末(2019年5月28日)	8,322	50	△ 10.2	17,169	1.2	27.11	△ 8.8	—	97.4	276
24期末(2019年8月28日)	7,711	40	△ 6.9	17,430	1.5	25.59	△ 5.6	—	97.1	236
25期末(2019年11月28日)	8,788	40	14.5	19,159	9.9	25.68	0.4	—	98.6	292
26期末(2020年2月28日)	7,926	20	△ 9.6	18,096	△ 5.5	24.36	△ 5.1	—	98.5	231
27期末(2020年5月28日)	6,278	30	△ 20.4	18,445	1.9	20.46	△ 16.0	—	98.4	175

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) S & P 500指数(米ドルベース)は、同指数の原データをもとに、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。S & P 500指数(米ドルベース)の所有権およびその他一切の権利は、S & P Dow Jones Indices LLCが有しています。S & P Dow Jones Indices LLCは、同指数の算出にかかる誤謬等に関し、いかなる者に対しても責任を負うものではありません。

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 為替レートは、計算日における対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートを採用しています。

(注5) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

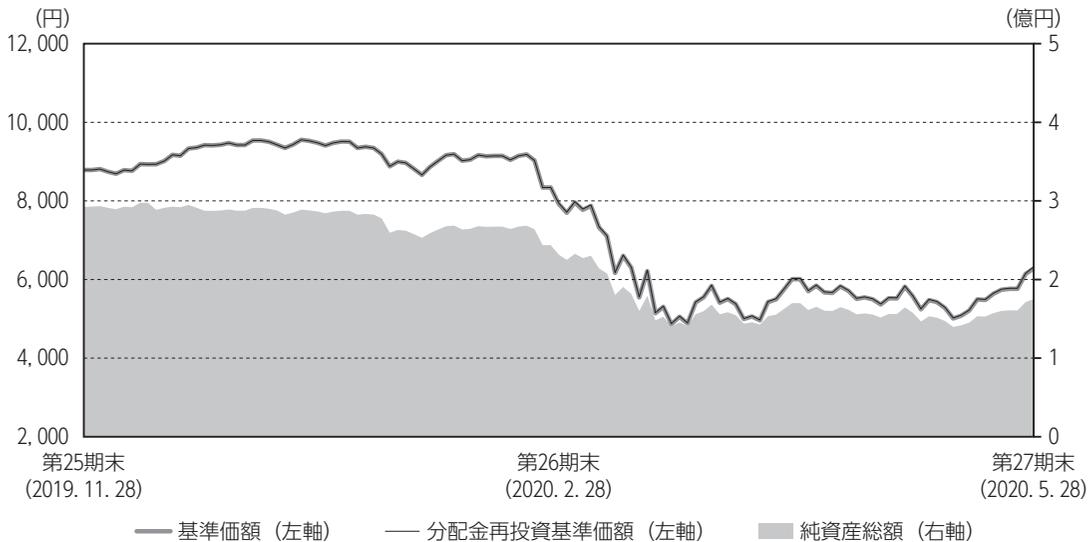
(注6) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注7) 公社債組入比率は新株予約権付社債券(転換社債券)および債券先物を除きます。



運用経過

基準価額等の推移について



- * 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- * 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

基準価額・騰落率

第26期首：8,788円

第27期末：6,278円（既払分配金50円）

騰落率：△28.0%（分配金再投資ベース）

基準価額の主な変動要因

米国株式市況が下落したことやブラジル・リアルが対円で下落（円高）したことなどがマイナス要因となり、基準価額は下落しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド -イーグルアイII- 予想分配金提示型 ブラジル・リアル・コース

	年 月 日	基 準 価 額		S & P 500指数 (米ドルベース)		ブラジル・リアル 為替レート		公 社 債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率
		円	騰落率 %	(参考指数)	騰落率 %	(参考指数)	騰落率 %		
第26期	(期首) 2019年11月28日	8,788	—	19,159	—	25.68	—	—	98.6
	11月末	8,788	0.0	19,159	0.0	26.00	1.2	—	98.5
	12月末	9,538	8.5	19,683	2.7	27.04	5.3	—	99.1
	2020年1月末	8,819	0.4	19,949	4.1	25.66	△ 0.1	—	98.3
	(期末) 2020年2月28日	7,946	△ 9.6	18,096	△ 5.5	24.36	△ 5.1	—	98.5
第27期	(期首) 2020年2月28日	7,926	—	18,096	—	24.36	—	—	98.5
	3月末	5,503	△ 30.6	15,957	△ 11.8	20.92	△ 14.1	—	98.4
	4月末	5,519	△ 30.4	17,858	△ 1.3	20.01	△ 17.9	—	98.8
	(期末) 2020年5月28日	6,308	△ 20.4	18,445	1.9	20.46	△ 16.0	—	98.4

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

(2019. 11. 29 ~ 2020. 5. 28)

■米国株式市況

米国株式市況は下落しました。

米国株式市況は、当作成期首から2020年1月中旬にかけては、米中通商協議が進展して第1段階の合意が署名されたことなどから、上昇基調で推移しました。しかし1月下旬に、中国において新型コロナウイルスの感染拡大が懸念され株価が下落したことに続き、2月後半以降は中国以外における感染拡大が懸念され、株価は2月後半から3月中旬にかけて大幅に下落しました。その後は、米国での大規模な経済対策法案をはじめとした各国の大胆な景気刺激策への期待や、新型コロナウイルスの感染拡大抑制策で行われた都市封鎖が徐々に解除される中で経済活動再開への期待感が醸成されたことなどから、下げ幅を縮小しました。

■為替相場

ブラジル・リアルは対円で大幅に下落しました。

ブラジル・リアル対円為替相場は、当作成期首から2019年12月末にかけては、米中貿易摩擦懸念の後退などから底堅く推移しました。しかし2020年1月以降は、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大や都市封鎖に伴う景気見通しの悪化によってリスク回避姿勢が強まり、リアルは大幅に下落しました。4月以降も、ブラジル国内で新型コロナウイルスの感染拡大が発生して感染者数が急増したことや、新型コロナウイルスへの対応を巡って政治的混乱が起こったことなどが嫌気され、リアルは軟調に推移しました。

■短期金利市況

ブラジル中央銀行は、政策金利を5.00%から3.00%に引き下げました。

米国では、2020年3月に連続で大幅に利下げを実施し、政策金利の誘導目標レンジを1.50~1.75%から0.00~0.25%に引き下げました。

前作成期末における「今後の運用方針」

■当ファンド

今後も、US コンセントレイテッド・ケイマン（ブラジル・リアル・クラス）とダイワ・マネースtock・マザーファンドに投資します。また、US コンセントレイテッド・ケイマン（ブラジル・リアル・クラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

※US コンセントレイテッド・ケイマン（ブラジル・リアル・クラス）：ダイワ・プレミアム・

トラストー ダイワ／ハリス US コンセントレイテッド・ケイマン (ブラジル・レアル・クラス)

■US コンセントレイテッド・ケイマン (ブラジル・レアル・クラス)

ボトムアップによる企業リサーチをもとに、財務内容が強固であり、経営陣が有能で、長期的にキャッシュフロー成長が見込まれる企業の中から、企業の本源的価値と比較して割安に放置されている銘柄に厳選投資していきます。引き続き、一時的な株価調整局面は企業の本源的価値に対して割安な水準で投資する機会と捉え、短期的な損益ではなく、長期投資のリターンを追求していきます。原則として、米ドル建ての資産に対して、米ドル売り／ブラジル・レアル買いの為替取引を行います。

■ダイワ・マネースtock・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

ポートフォリオについて

(2019. 11. 29 ~ 2020. 5. 28)

■当ファンド

当ファンドは、US コンセントレイテッド・ケイマン (ブラジル・レアル・クラス) とダイワ・マネースtock・マザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズです。US コンセントレイテッド・ケイマン (ブラジル・レアル・クラス) への投資割合は、信託財産の純資産総額の95%程度以上とすることをめざしました。

■US コンセントレイテッド・ケイマン (ブラジル・レアル・クラス)

US コンセントレイテッド・ケイマン (ブラジル・レアル・クラス) の受益証券においては、株式組入比率をおおむね90%以上の高位に維持しました。銘柄選択にあたって、ハリス・アソシエイツ・エル・ピーでは、独自に算出する投資対象企業の本源的価値と比較して著しく割安な銘柄に厳選投資することを基本方針としています。引き続き、財務内容が健全であり、経営陣の質が高く、企業の本源的価値と比較して割安に放置されている企業に厳選投資しました。セクター別では、コミュニケーション・サービスや金融を高位で組み入れました。銘柄別では、ALPHABET (コミュニケーション・サービス)、HILTON WORLDWIDE HOLDINGS (一般消費財・サービス)、CBRE GROUP (不動産)などを高位で組み入れました。また、米ドル建ての資産に対して、米ドル売り／ブラジル・レアル買いの為替取引を行いました。

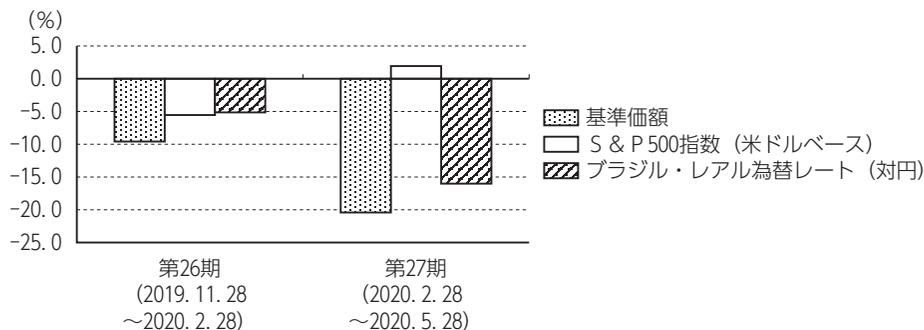
■ダイワ・マネースtock・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、コール・ローン等による運用を行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



分配金について

当作成期の1万口当り分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（1万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	第26期	第27期
	2019年11月29日 ~2020年2月28日	2020年2月29日 ~2020年5月28日
当期分配金（税込み） (円)	20	30
対基準価額比率 (%)	0.25	0.48
当期の収益 (円)	20	30
当期の収益以外 (円)	—	—
翌期繰越分配対象額 (円)	3,032	3,089

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

■収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	第26期	第27期
(a) 経費控除後の配当等収益	✓ 30.77円	✓ 86.81円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00
(c) 収益調整金	2,084.14	2,085.54
(d) 分配準備積立金	937.43	946.81
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)	3,052.35	3,119.16
(f) 分配金	20.00	30.00
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)	3,032.35	3,089.16

(注) ✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



今後の運用方針

■当ファンド

今後も、US コンセントレイテッド・ケイマン（ブラジル・リアル・クラス）とダイワ・マネースtock・マザーファンドに投資します。また、US コンセントレイテッド・ケイマン（ブラジル・リアル・クラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

■US コンセントレイテッド・ケイマン（ブラジル・リアル・クラス）

ボトムアップによる企業リサーチをもとに、財務内容が強固であり、経営陣が有能で、長期的にキャッシュフロー成長が見込まれる企業の中から、企業の本源的価値と比較して割安に放置されている銘柄に厳選投資していきます。引き続き、一時的な株価調整局面は企業の本源的価値に対して割安な水準で投資する機会と捉え、短期的な損益ではなく、長期投資のリターンを追求していきます。原則として、米ドル建ての資産に対して、米ドル売り／ブラジル・リアル買いの為替取引を行います。

■ダイワ・マネースtock・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

1万口当りの費用の明細

項 目	第26期～第27期 (2019. 11. 29～2020. 5. 28)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	46円	0.617%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は7,450円です。
(投 信 会 社)	(16)	(0.219)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(29)	(0.384)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(1)	(0.014)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0.004	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(0)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	46	0.621	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

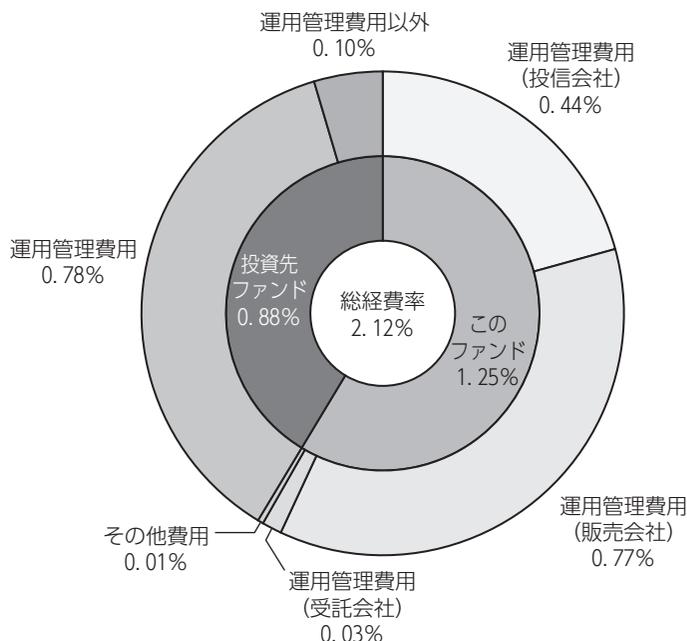
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は2.12%です。



総経費率 (① + ② + ③)	2.12%
①このファンドの費用の比率	1.25%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.78%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.10%

(注1) ①の費用は、1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 投資先ファンドとは、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注5) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注6) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

■売買および取引の状況
投資信託受益証券

(2019年11月29日から2020年5月28日まで)

決算期	第26期～第27期			
	買付		売付	
	□数	金額	□数	金額
外国 (邦貨建)	千口 81.42691	千円 4,705	千口 577.13856	千円 46,000

(注1) 買付は、外国投資信託から支払われた分配金による再投資分を含みます。

(注2) 金額は受渡し代金。

(注3) 金額の単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄
投資信託受益証券

(2019年11月29日から2020年5月28日まで)

第26期				～	第27期			
買付				売付				
銘柄	□数	金額	平均単価	銘柄	□数	金額	平均単価	
	千口	千円	円	US CONCENTRATED CAYMAN BRL CLASS (ケイマン諸島)	千口 577.13856	千円 46,000	円 79	

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組み入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	第27期末		
	□数	評価額	比率
外国投資信託受益証券 (ケイマン諸島) US CONCENTRATED CAYMAN BRL CLASS	千口 2,894.33489	千円 172,331	% 98.4

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種類	第25期末	第27期末	
	□数	□数	評価額
ダイワ・マネースtock・マザーファンド	千口 300	千口 300	千円 300

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2020年5月28日現在

項目	第27期末	
	評価額	比率
投資信託受益証券	千円 172,331	% 97.7
ダイワ・マネースtock・マザーファンド	300	0.2
コール・ローン等、その他	3,831	2.1
投資信託財産総額	176,463	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2020年2月28日)、(2020年5月28日)現在

項目	第26期末	第27期末
(A) 資産	233,103,842円	176,463,752円
コール・ローン等	4,651,463	3,831,496
投資信託受益証券(評価額)	228,151,686	172,331,593
ダイワ・マネースtock・マザーファンド(評価額)	300,693	300,663
(B) 負債	1,462,582	1,348,133
未払収益分配金	584,535	836,773
未払信託報酬	872,281	502,275
その他未払費用	5,766	9,085
(C) 純資産総額(A-B)	231,641,260	175,115,619
元本	292,267,742	278,924,635
次期繰越損益金	△ 60,626,482	△ 103,809,016
(D) 受益権総口数	292,267,742口	278,924,635口
1万口当り基準価額(C/D)	7,926円	6,278円

*第25期末における元本額は332,645,192円、当作成期間(第26期~第27期)中における追加設定元本額は895,862円、同解約元本額は54,616,419円です。

*第27期末の計算口数当りの純資産額は6,278円です。

*第27期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は103,809,016円です。

■損益の状況

第26期 自 2019年11月29日 至 2020年2月28日
第27期 自 2020年2月29日 至 2020年5月28日

項目	第26期	第27期
(A) 配当等収益	1,777,383円	2,927,047円
受取配当金	1,777,751	2,927,308
受取利息	21	13
支払利息	△ 389	△ 274
(B) 有価証券売買損益	△ 25,534,925	△ 47,476,314
売買益	1,601,115	3,183,268
売買損	△ 27,136,040	△ 50,659,582
(C) 信託報酬等	△ 878,047	△ 505,597
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 24,635,589	△ 45,054,864
(E) 前期繰越損益金	△ 35,250,953	△ 57,625,545
(F) 追加信託差損益金	△ 155,405	△ 291,834
(配当等相当額)	(60,912,901)	(58,170,957)
(売買損益相当額)	(△ 61,068,306)	(△ 58,462,791)
(G) 合計(D+E+F)	△ 60,041,947	△ 102,972,243
(H) 収益分配金	△ 584,535	△ 836,773
次期繰越損益金(G+H)	△ 60,626,482	△ 103,809,016
追加信託差損益金	(155,405)	(291,834)
(配当等相当額)	(60,912,901)	(58,170,957)
(売買損益相当額)	(△ 61,068,306)	(△ 58,462,791)
分配準備積立金	27,712,954	27,993,542
繰越損益金	△ 88,184,031	△ 131,510,724

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程(総額)」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程(総額)

項目	第26期	第27期
(a) 経費控除後の配当等収益	899,317円	2,421,424円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0
(c) 収益調整金	60,912,901	58,170,957
(d) 分配準備積立金	27,398,172	26,408,891
(e) 当期分配対象額(a+b+c+d)	89,210,390	87,001,272
(f) 分配金	584,535	836,773
(g) 翌期繰越分配対象額(e-f)	88,625,855	86,164,499
(h) 受益権総口数	292,267,742口	278,924,635口

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ		
1 万 口 当 り 分 配 金	第26期	第27期
	20円	30円

●〈分配金再投資コース〉をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

《お知らせ》

■商号変更について

大和証券投資信託委託株式会社は、2020年4月1日付で、商号を「大和アセットマネジメント株式会社」に変更いたしました。

米ドル・コース

最近10期の運用実績

決算期	基準価額			S & P 500指数 (円換算)		公社債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率	純資産 総額
	(分配落)	税込み 分配金	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率			
	円	円	%		%	%	%	百万円
18期末(2018年2月28日)	10,765	350	3.0	18,320	2.0	0.0	97.8	4,747
19期末(2018年5月28日)	10,229	300	△ 2.2	18,532	1.2	—	98.3	4,489
20期末(2018年8月28日)	10,728	300	7.8	20,033	8.1	—	98.1	4,708
21期末(2018年11月28日)	9,904	0	△ 7.7	18,976	△ 5.3	—	95.9	4,264
22期末(2019年2月28日)	10,471	0	5.7	19,249	1.4	—	95.7	4,100
23期末(2019年5月28日)	10,108	0	△ 3.5	19,253	0.0	—	95.3	3,480
24期末(2019年8月28日)	9,646	0	△ 4.6	18,861	△ 2.0	—	95.9	3,091
25期末(2019年11月28日)	10,852	350	16.1	21,449	13.7	—	98.1	3,230
26期末(2020年2月28日)	10,008	300	△ 5.0	20,267	△ 5.5	—	97.1	2,799
27期末(2020年5月28日)	9,612	0	△ 4.0	20,372	0.5	—	99.0	2,605

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) S & P 500指数(円換算)は、S & P 500指数(米ドルベース)をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。S & P 500指数(米ドルベース)の所有権およびその他一切の権利は、S & P Dow Jones Indices LLCが有しています。S & P Dow Jones Indices LLCは、同指数の算出にかかる誤謬等に関し、いかなる者に対しても責任を負うものではありません。

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

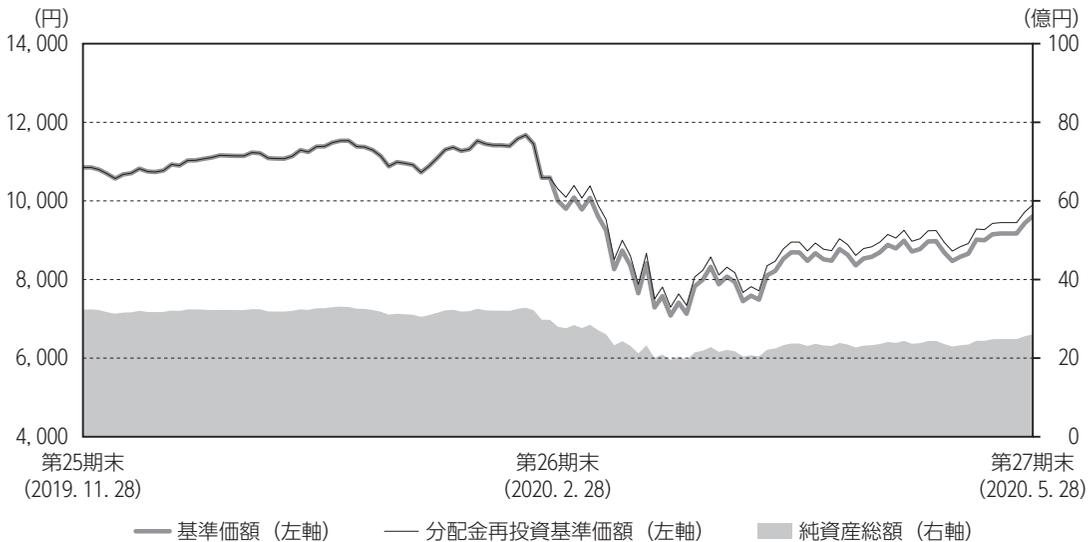
(注5) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注6) 公社債組入比率は新株予約権付社債券(転換社債券)および債券先物を除きます。



運用経過

基準価額等の推移について



* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

基準価額・騰落率

第26期首：10,852円

第27期末：9,612円（既払分配金300円）

騰落率：△8.8%（分配金再投資ベース）

基準価額の主な変動要因

米国株式市況が下落したことや米ドルが対円で下落（円高）したことなどがマイナス要因となり、基準価額は下落しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド -イーグルアイII- 予想分配金提示型 米ドル・コース

	年 月 日	基 準 価 額		S & P 500指数 (円換算)		公 社 債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率
		円	騰 落 率 %	(参考指数)	騰 落 率 %		
第26期	(期首) 2019年11月28日	10,852	—	21,449	—	—	98.1
	11月末	10,851	△ 0.0	21,482	0.2	—	97.7
	12月末	11,212	3.3	22,071	2.9	—	98.3
	2020年1月末	10,915	0.6	22,266	3.8	—	98.8
	(期末) 2020年2月28日	10,308	△ 5.0	20,267	△ 5.5	—	97.1
第27期	(期首) 2020年2月28日	10,008	—	20,267	—	—	97.1
	3月末	8,073	△ 19.3	17,773	△ 12.3	—	99.0
	4月末	8,792	△ 12.2	19,532	△ 3.6	—	99.1
	(期末) 2020年5月28日	9,612	△ 4.0	20,372	0.5	—	99.0

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

(2019. 11. 29 ~ 2020. 5. 28)

■米国株式市況

米国株式市況は下落しました。

米国株式市況は、当作成期首から2020年1月中旬にかけては、米中通商協議が進展して第1段階の合意が署名されたことなどから、上昇基調で推移しました。しかし1月下旬に、中国において新型コロナウイルスの感染拡大が懸念され株価が下落したことに続き、2月後半以降は中国以外における感染拡大が懸念され、株価は2月後半から3月中旬にかけて大幅に下落しました。その後は、米国での大規模な経済対策法案をはじめとした各国の大胆な景気刺激策への期待や、新型コロナウイルスの感染拡大抑制策で行われた都市封鎖が徐々に解除される中で経済活動再開への期待感が醸成されたことなどから、下げ幅を縮小しました。

■為替相場

米ドルは対円で下落しました。

米ドル対円為替相場は、当作成期首から2020年1月中旬にかけては、米中貿易摩擦懸念の後退などから底堅く推移しました。しかし1月下旬以降は、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大や都市封鎖に伴う景気見通しの悪化などから、値動きの荒い展開となりました。市場の混乱による米ドル需要の高まりなどから一時的に米ドルが上昇する局面もあったものの、リスク回避の円買いが優勢となり、米ドルは対円で下落しました。

前作成期末における「今後の運用方針」

■当ファンド

今後も、US コンセントレイテッド・ケイマン (米ドル・クラス) とダイワ・マネーストック・マザーファンドに投資します。また、US コンセントレイテッド・ケイマン (米ドル・クラス) への投資割合を高位に維持することを基本とします。

※US コンセントレイテッド・ケイマン (米ドル・クラス)：ダイワ・プレミアム・トラストーダイワ/ハリス US コンセントレイテッド・ケイマン (米ドル・クラス)

■US コンセントレイテッド・ケイマン (米ドル・クラス)

ボトムアップによる企業リサーチをもとに、財務内容が強固であり、経営陣が有能で、長期的にキャッシュフロー成長が見込まれる企業の中から、企業の本源的価値と比較して割安に放置されている銘柄に厳選投資していきます。引き続き、一時的な株価調整局面は企業の本源的価値に対して

割安な水準で投資する機会と捉え、短期的な損益ではなく、長期投資のリターンを追求していきます。

■ダイワ・マネースtock・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

ポートフォリオについて

(2019. 11. 29 ~ 2020. 5. 28)

■当ファンド

当ファンドは、US コンセントレイテッド・ケイマン (米ドル・クラス) とダイワ・マネースtock・マザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズです。US コンセントレイテッド・ケイマン (米ドル・クラス) への投資割合は、信託財産の純資産総額の95%程度以上とすることをめざしました。

■US コンセントレイテッド・ケイマン (米ドル・クラス)

US コンセントレイテッド・ケイマン (米ドル・クラス) の受益証券においては、株式組入比率をおおむね90%以上の高位に維持しました。銘柄選択にあたって、ハリス・アソシエイツ・エル・ピーでは、独自に算出する投資対象企業の本源的価値と比較して著しく割安な銘柄に厳選投資することを基本方針としています。引き続き、財務内容が健全であり、経営陣の質が高く、企業の本源的価値と比較して割安に放置されている企業に厳選投資しました。セクター別では、コミュニケーション・サービスや金融を高位で組み入れました。銘柄別では、ALPHABET (コミュニケーション・サービス)、HILTON WORLDWIDE HOLDINGS (一般消費財・サービス)、CBRE GROUP (不動産)などを高位で組み入れました。

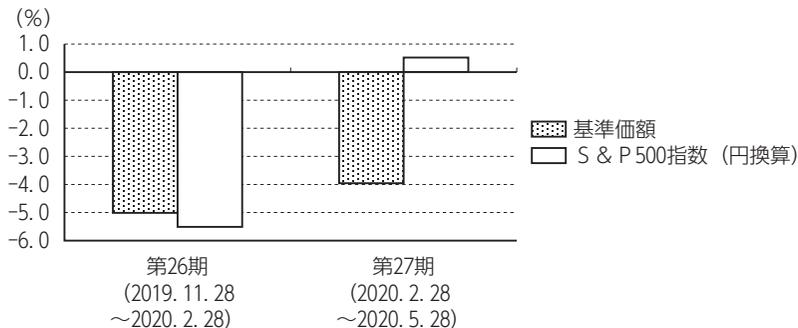
■ダイワ・マネースtock・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、コール・ローン等による運用を行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



分配金について

当作成期の1万口当り分配金(税込み)は下記「分配原資の内訳(1万口当り)」の「当期分配金(税込み)」欄をご参照ください。なお、第27期は、分配方針通り、基準価額の水準等を勘案し、収益分配を見送らせていただきました。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程(1万口当り)」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

分配原資の内訳(1万口当り)

項目	第26期		第27期	
	2019年11月29日 ~2020年2月28日	(円)	2020年2月29日 ~2020年5月28日	(円)
当期分配金(税込み)		300		—
対基準価額比率	(%)	2.91		—
当期の収益	(円)	—		—
当期の収益以外	(円)	300		—
翌期繰越分配対象額	(円)	674		674

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金(税込み)に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

■ 収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	第26期	第27期
(a) 経費控除後の配当等収益	0.00円	0.00円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00
(c) 収益調整金	591.56	592.45
(d) 分配準備積立金	✓ 383.24	82.36
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)	974.81	674.81
(f) 分配金	300.00	0.00
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)	674.81	674.81

(注) ✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



今後の運用方針

■ 当ファンド

今後も、US コンセントレイテッド・ケイマン（米ドル・クラス）とダイワ・マネーストック・マザーファンドに投資します。また、US コンセントレイテッド・ケイマン（米ドル・クラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

■ US コンセントレイテッド・ケイマン（米ドル・クラス）

ボトムアップによる企業リサーチをもとに、財務内容が強固であり、経営陣が有能で、長期的にキャッシュフロー成長が見込まれる企業の中から、企業の本源的価値と比較して割安に放置されている銘柄に厳選投資していきます。引き続き、一時的な株価調整局面は企業の本源的価値に対して割安な水準で投資する機会と捉え、短期的な損益ではなく、長期投資のリターンを追求していきます。

■ ダイワ・マネーストック・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

1万口当りの費用の明細

項 目	第26期～第27期 (2019. 11. 29～2020. 5. 28)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	61円	0.616%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は9,829円です。
(投 信 会 社)	(22)	(0.219)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(38)	(0.383)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(1)	(0.014)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0.004	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(0)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	61	0.620	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

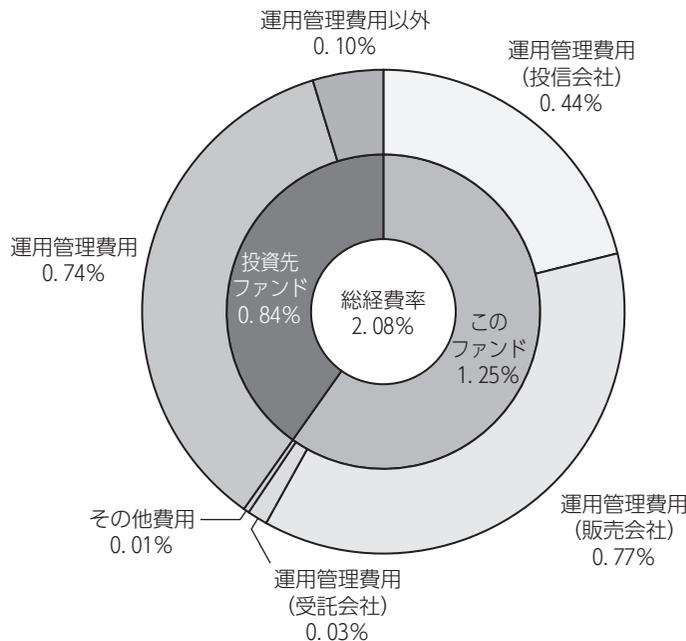
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は2.08%です。



総経費率 (① + ② + ③)	2.08%
①このファンドの費用の比率	1.25%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.74%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.10%

(注1) ①の費用は、1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 投資先ファンドとは、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注5) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注6) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

■売買および取引の状況
投資信託受益証券

(2019年11月29日から2020年5月28日まで)

決算期	第26期～第27期			
	買付		売付	
	□数	金額	□数	金額
外国 (邦貨建)	千口 373.58723	千円 62,444	千口 2,256.48075	千円 380,000

(注1) 買付は、外国投資信託から支払われた分配金による再投資分を含みます。

(注2) 金額は受渡し代金。

(注3) 金額の単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄
投資信託受益証券

(2019年11月29日から2020年5月28日まで)

第26期				第27期			
銘柄	買付			売付			
	□数	金額	平均単価	□数	金額	平均単価	
US CONCENTRATED CAYMAN USD CLASS (ケイマン諸島)	千口 295.31105	千円 50,000	円 169	千口 2,256.48075	千円 380,000	円 168	

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組み入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	第27期末		
	□数	評価額	比率
外国投資信託受益証券 (ケイマン諸島) US CONCENTRATED CAYMAN USD CLASS	千口 16,015.16953	千円 2,579,211	% 99.0

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種類	第25期末	第27期末	
	□数	□数	評価額
ダイワ・マネースtock・マザーファンド	千口 1,999	千口 1,999	千円 2,001

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2020年5月28日現在

項目	第27期末	
	評価額	比率
投資信託受益証券	千円 2,579,211	% 98.7
ダイワ・マネースtock・マザーファンド	2,001	0.1
コール・ローン等、その他	31,456	1.2
投資信託財産総額	2,612,669	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2020年2月28日)、(2020年5月28日)現在

項 目	第26期末	第27期末
(A) 資産	2,916,718,781円	2,612,669,096円
コール・ローン等	175,300,712	31,456,299
投資信託受益証券(評価額)	2,719,416,094	2,579,211,022
ダイワ・マネースtock・マザーファンド(評価額)	2,001,975	2,001,775
未収入金	20,000,000	—
(B) 負債	117,052,193	7,263,065
未払金	10,000,000	—
未払収益分配金	83,925,331	—
未払解約金	13,078,927	—
未払信託報酬	9,981,437	7,148,874
その他未払費用	66,498	114,191
(C) 純資産総額(A-B)	2,799,666,588	2,605,406,031
元本	2,797,511,042	2,710,651,900
次期繰越損益金	2,155,546	△ 105,245,869
(D) 受益権総口数	2,797,511,042口	2,710,651,900口
1万口当り基準価額(C/D)	10,008円	9,612円

*第25期末における元本額は2,976,732,460円、当作成期間(第26期~第27期)中における追加設定元本額は51,177,830円、同解約元本額は317,258,390円です。

*第27期末の計算口数当りの純資産額は9,612円です。

*第27期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は105,245,869円です。

■損益の状況

第26期 自 2019年11月29日 至 2020年2月28日
第27期 自 2020年2月29日 至 2020年5月28日

項 目	第26期	第27期
(A) 配当等収益	5,255,415円	7,179,518円
受取配当金	5,259,797	7,184,122
受取利息	251	150
支払利息	△ 4,633	△ 4,754
(B) 有価証券売買損益	△ 147,415,461	△ 107,238,166
売買益	6,084,002	19,798,457
売買損	△ 153,499,463	△ 127,036,623
(C) 信託報酬等	△ 10,047,935	△ 7,196,599
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 152,207,981	△ 107,255,247
(E) 前期繰越損益金	107,213,957	△ 123,594,257
(F) 追加信託差損益金	131,074,901	125,603,635
(配当等相当額)	(165,492,197)	(160,592,889)
(売買損益相当額)	(△ 34,417,296)	(△ 34,989,254)
(G) 合計(D+E+F)	86,080,877	△ 105,245,869
(H) 収益分配金	△ 83,925,331	—
次期繰越損益金(G+H)	2,155,546	△ 105,245,869
追加信託差損益金	131,074,901	125,603,635
(配当等相当額)	(165,492,197)	(160,592,889)
(売買損益相当額)	(△ 34,417,296)	(△ 34,989,254)
分配準備積立金	23,288,626	22,326,672
繰越損益金	△ 152,207,981	△ 253,176,176

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程(総額)」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程(総額)

項 目	第26期	第27期
(a) 経費控除後の配当等収益	0円	0円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0
(c) 収益調整金	165,492,197	160,592,889
(d) 分配準備積立金	107,213,957	22,326,672
(e) 当期分配対象額(a+b+c+d)	272,706,154	182,919,561
(f) 分配金	83,925,331	0
(g) 翌期繰越分配対象額(e-f)	188,780,823	182,919,561
(h) 受益権総口数	2,797,511,042口	2,710,651,900口

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ	
1 万 口 当 り 分 配 金	第26期
	300円

- 〈分配金再投資コース〉をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

《お知らせ》

■商号変更について

大和証券投資信託委託株式会社は、2020年4月1日付で、商号を「大和アセットマネジメント株式会社」に変更いたしました。

通貨セレクト・コース

最近10期の運用実績

決算期	基準価額			S & P 500指数 (米ドルベース)		公社債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率	純資産 総額
	(分配落)	税込み 分配金	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率			
18期末(2018年2月28日)	9,309	120	5.2	16,672	5.5	0.0	98.5	1,481
19期末(2018年5月28日)	8,303	100	△ 9.7	16,532	△ 0.8	—	98.8	1,239
20期末(2018年8月28日)	8,264	140	1.2	17,598	6.4	—	98.8	1,168
21期末(2018年11月28日)	7,700	140	△ 5.1	16,294	△ 7.4	—	98.7	1,059
22期末(2019年2月28日)	8,302	140	9.6	16,964	4.1	—	98.8	1,048
23期末(2019年5月28日)	7,827	150	△ 3.9	17,169	1.2	—	98.7	951
24期末(2019年8月28日)	7,405	140	△ 3.6	17,430	1.5	—	98.2	799
25期末(2019年11月28日)	8,689	120	19.0	19,159	9.9	—	98.8	896
26期末(2020年2月28日)	8,106	80	△ 5.8	18,096	△ 5.5	—	97.7	799
27期末(2020年5月28日)	7,091	120	△ 11.0	18,445	1.9	—	98.2	679

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) S & P 500指数 (米ドルベース) は、同指数の原データをもとに、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。S & P 500指数 (米ドルベース) の所有権およびその他一切の権利は、S & P Dow Jones Indices LLC が有しています。S & P Dow Jones Indices LLC は、同指数の算出にかかる誤謬等に関し、いかなる者に対しても責任を負うものではありません。

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

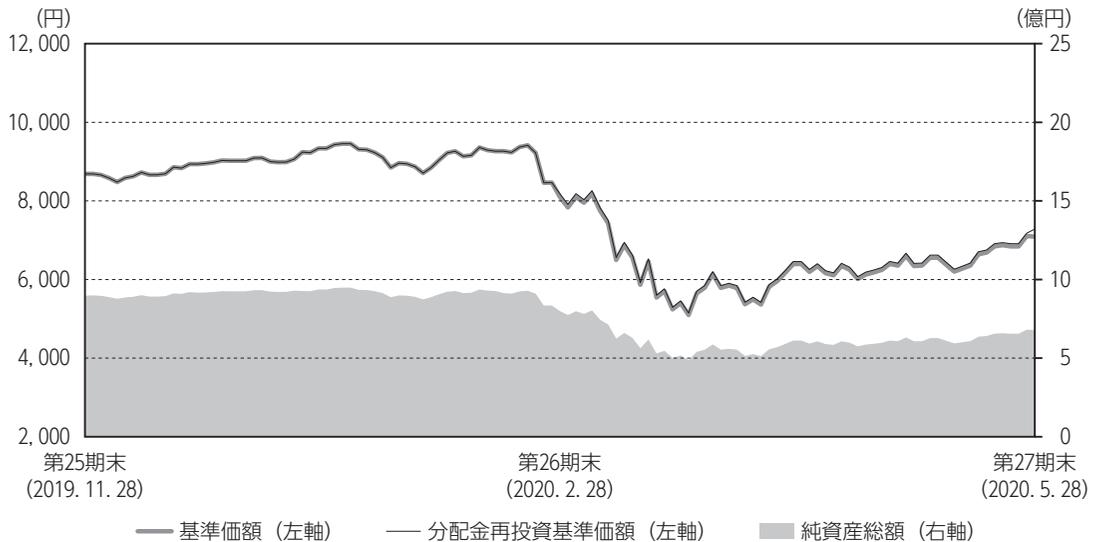
(注5) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注6) 公社債組入比率は新株予約権付社債券 (転換社債券) および債券先物を除きます。



運用経過

基準価額等の推移について



* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

基準価額・騰落率

第26期首：8,689円

第27期末：7,091円（既払分配金200円）

騰落率：△16.2%（分配金再投資ベース）

基準価額の主な変動要因

米国株式市況が下落したことや選定通貨（※）が対円で下落（円高）したことなどがマイナス要因となり、基準価額は下落しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

※選定通貨とは、通貨の選定方針により、為替取引の対象通貨として選定された通貨をいいます。

通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド -イーグルアイII- 予想分配金提示型 通貨セレクト・コース

	年 月 日	基 準 価 額		S & P 500指数 (米ドルベース)		公 社 債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率
		円	騰 落 率 %	(参考指数)	騰 落 率 %		
第26期	(期首) 2019年11月28日	8,689	—	19,159	—	—	98.8
	11月末	8,688	△ 0.0	19,159	0.0	—	98.6
	12月末	9,093	4.6	19,683	2.7	—	98.5
	2020年1月末	8,873	2.1	19,949	4.1	—	98.6
	(期末) 2020年2月28日	8,186	△ 5.8	18,096	△ 5.5	—	97.7
第27期	(期首) 2020年2月28日	8,106	—	18,096	—	—	97.7
	3月末	5,847	△ 27.9	15,957	△ 11.8	—	97.5
	4月末	6,354	△ 21.6	17,858	△ 1.3	—	97.8
	(期末) 2020年5月28日	7,211	△ 11.0	18,445	1.9	—	98.2

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

(2019. 11. 29 ~ 2020. 5. 28)

■米国株式市況

米国株式市況は下落しました。

米国株式市況は、当作成期首から2020年1月中旬にかけては、米中通商協議が進展して第1段階の合意が署名されたことなどから、上昇基調で推移しました。しかし1月下旬に、中国において新型コロナウイルスの感染拡大が懸念され株価が下落したことに続き、2月後半以降は中国以外における感染拡大が懸念され、株価は2月後半から3月中旬にかけて大幅に下落しました。その後は、米国での大規模な経済対策法案をはじめとした各国の大胆な景気刺激策への期待や、新型コロナウイルスの感染拡大抑制策で行われた都市封鎖が徐々に解除される中で経済活動再開への期待感が醸成されたことなどから、下げ幅を縮小しました。

■為替相場

選定通貨は対円で下落しました。

当作成期首から2019年12月末にかけては、米中貿易摩擦への懸念が後退し、市場のリスク選好度が強まったことなどから、選定通貨は対円でおおむね上昇しました。しかし2020年1月以降は、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大から市場のリスク回避姿勢が強まったことで、選定通貨は対円でおおむね下落しました。

当作成期における選定通貨の値動きは、インド・ルピー、インドネシア・ルピア、メキシコ・ペソ、ロシア・ルーブル、トルコ・リラ、ルーマニア・レイ、中国・人民元、南アフリカ・ランドは対円で下落しました。

■短期金利市況

選定通貨の短期金利は、高い経済成長率やインフレ率を背景に米ドルの短期金利をおおむね上回って推移しました。米国では利下げが実施され、政策金利の誘導目標レンジは1.50~1.75%から0.00~0.25%に引き下げられました。

前作成期末における「今後の運用方針」

■当ファンド

今後も、US コンセントレイテッド・ケイマン（通貨セレクト・クラス）とダイワ・マネースtock・マザーファンドに投資します。また、US コンセントレイテッド・ケイマン（通貨セレクト・クラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

※US コンセントレイテッド・ケイマン（通貨セレクト・クラス）：ダイワ・プレミアム・トラスター ダイワ/ハリス US コンセントレイテッド・ケイマン（通貨セレクト・クラス）

■US コンセントレイテッド・ケイマン（通貨セレクト・クラス）

ボトムアップによる企業リサーチをもとに、財務内容が強固であり、経営陣が有能で、長期的にキャッシュフロー成長が見込まれる企業の中から、企業の本源的価値と比較して割安に放置されている銘柄に厳選投資していきます。引き続き、一時的な株価調整局面は企業の本源的価値に対して割安な水準で投資する機会と捉え、短期的な損益ではなく、長期投資のリターンを追求していきます。原則として、米ドル建ての資産に対して、米ドル売り/選定通貨買いの為替取引を行います。

大和アセットマネジメント株式会社が通貨の選定および配分比率について助言を行います。

■ダイワ・マネースtock・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

ポートフォリオについて

(2019. 11. 29 ~ 2020. 5. 28)

■当ファンド

当ファンドは、US コンセントレイテッド・ケイマン（通貨セレクト・クラス）とダイワ・マネースtock・マザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズです。US コンセントレイテッド・ケイマン（通貨セレクト・クラス）への投資割合は、信託財産の純資産総額の95%程度以上とすることをめざしました。

■US コンセントレイテッド・ケイマン（通貨セレクト・クラス）

US コンセントレイテッド・ケイマン（通貨セレクト・クラス）の受益証券においては、株式組入比率をおおむね90%以上の高位に維持しました。銘柄選択にあたって、ハリス・アソシエイツ・エル・ピーでは、独自に算出する投資対象企業の本源的価値と比較して著しく割安な銘柄に厳選投資することを基本方針としています。引き続き、財務内容が健全であり、経営陣の質が高く、

企業の本源的価値と比較して割安に放置されている企業に厳選投資しました。セクター別では、コミュニケーション・サービスや金融を高位で組み入れました。銘柄別では、ALPHABET（コミュニケーション・サービス）、HILTON WORLDWIDE HOLDINGS（一般消費財・サービス）、CBRE GROUP（不動産）などを高位で組み入れました。また、米ドル建ての資産に対して、米ドル売り／選定通貨買いの為替取引を行いました。

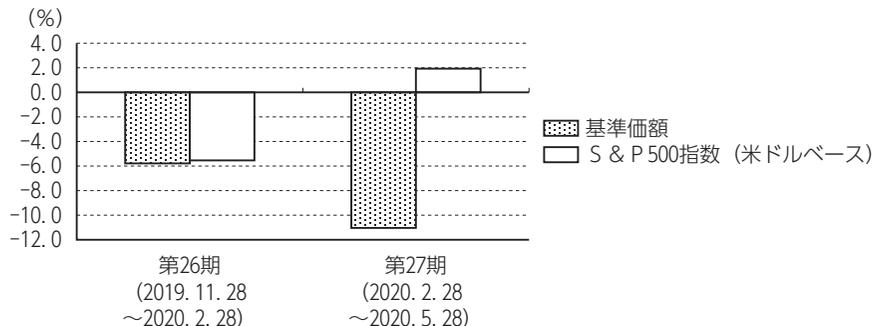
ダイワ・マネースtock・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、コール・ローン等による運用を行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



分配金について

当作成期の1万口当り分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（1万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	第26期	第27期
	2019年11月29日 ～2020年2月28日	2020年2月29日 ～2020年5月28日
当期分配金（税込み） (円)	80	120
対基準価額比率 (%)	0.98	1.66
当期の収益 (円)	80	120
当期の収益以外 (円)	—	—
翌期繰越分配対象額 (円)	2,268	2,362

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	第26期	第27期
(a) 経費控除後の配当等収益	✓ 88.32円	✓ 213.61円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00
(c) 収益調整金	221.25	239.33
(d) 分配準備積立金	2,038.81	2,029.23
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)	2,348.38	2,482.18
(f) 分配金	80.00	120.00
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)	2,268.38	2,362.18

(注) ✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



今後の運用方針

■当ファンド

今後も、US コンセントレイテッド・ケイマン（通貨セレクト・クラス）とダイワ・マネーストック・マザーファンドに投資します。また、US コンセントレイテッド・ケイマン（通貨セレクト・クラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

■US コンセントレイテッド・ケイマン（通貨セレクト・クラス）

ボトムアップによる企業リサーチをもとに、財務内容が強固であり、経営陣が有能で、長期的にキャッシュフロー成長が見込まれる企業の中から、企業の本源的価値と比較して割安に放置されている銘柄に厳選投資していきます。引き続き、一時的な株価調整局面は企業の本源的価値に対して割安な水準で投資する機会と捉え、短期的な損益ではなく、長期投資のリターンを追求していきます。原則として、米ドル建ての資産に対して、米ドル売り／選定通貨買いの為替取引を行います。

大和アセットマネジメント株式会社が通貨の選定および配分比率について助言を行います。

■ダイワ・マネーストック・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

1万口当りの費用の明細

項 目	第26期～第27期 (2019. 11. 29～2020. 5. 28)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	47円	0.616%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は7,685円です。
(投 信 会 社)	(17)	(0.219)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(29)	(0.383)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(1)	(0.014)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0.004	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(0)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	48	0.620	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

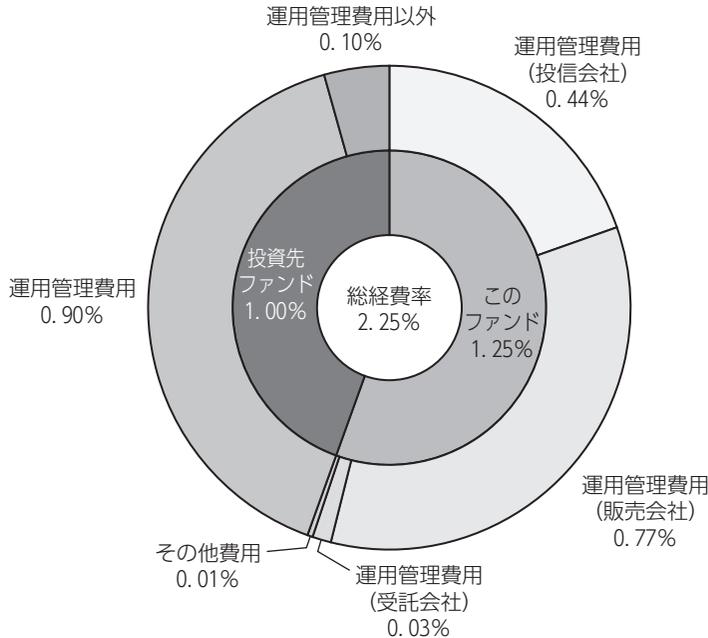
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は2.25%です。



総経費率 (① + ② + ③)	2.25%
①このファンドの費用の比率	1.25%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.90%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.10%

(注1) ①の費用は、1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 投資先ファンドとは、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注5) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注6) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

■売買および取引の状況

投資信託受益証券

(2019年11月29日から2020年5月28日まで)

決算期	第 26 期 ～ 第 27 期			
	買 付		売 付	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
外国 (邦貨建)	511.59205	34,055	1,094.72063	90,000

(注1) 買付は、外国投資信託から支払われた分配金による再投資分を含みます。

(注2) 金額は受渡し代金。

(注3) 金額の単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄

投資信託受益証券

(2019年11月29日から2020年5月28日まで)

第 26 期 ～ 第 27 期							
買 付				売 付			
銘 柄	□ 数	金 額	平均単価	銘 柄	□ 数	金 額	平均単価
	千口	千円	円		千口	千円	円
				US CONCENTRATED CAYMAN CS CLASS (ケイマン諸島)	1,094.72063	90,000	82

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組み入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	第 27 期 末		
	□ 数	評価額	比 率
	千口	千円	%
外国投資信託受益証券 (ケイマン諸島) US CONCENTRATED CAYMAN CS CLASS	9,855.89138	666,780	98.2

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種 類	第25期末	第 27 期 末	
	□ 数	□ 数	評 価 額
	千口	千口	千円
ダイワ・マネースtock・ マザーファンド	505	505	506

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2020年5月28日現在

項 目	第 27 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投資信託受益証券	666,780	96.3
ダイワ・マネースtock・ マザーファンド	506	0.1
コール・ローン等、その他	25,422	3.6
投資信託財産総額	692,709	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2020年2月28日)、(2020年5月28日)現在

項 目	第26期末	第27期末
(A) 資産	810,195,022円	692,709,353円
コール・ローン等	28,545,921	25,422,177
投資信託受益証券(評価額)	781,142,493	666,780,619
ダイワ・マネースtock・マザーファンド(評価額)	506,608	506,557
(B) 負債	10,756,038	13,396,407
未払収益分配金	7,889,465	11,495,193
未払解約金	—	3,762
未払信託報酬	2,847,637	1,866,085
その他未払費用	18,936	31,367
(C) 純資産総額(A-B)	799,438,984	679,312,946
元本	986,183,159	957,932,760
次期繰越損益金	△ 186,744,175	△ 278,619,814
(D) 受益権総口数	986,183,159口	957,932,760口
1万口当り基準価額(C/D)	8,106円	7,091円

*第25期末における元本額は1,032,350,689円、当作成期間(第26期~第27期)における追加設定元本額は11,220,534円、同解約元本額は85,638,463円です。

*第27期末の計算口数当りの純資産額は7,091円です。

*第27期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は278,619,814円です。

■損益の状況

第26期 自 2019年11月29日 至 2020年2月28日
第27期 自 2020年2月29日 至 2020年5月28日

項 目	第26期	第27期
(A) 配当等収益	11,576,587円	22,341,736円
受取配当金	11,578,026	22,343,672
受取利息	47	51
支払利息	△ 1,486	△ 1,987
(B) 有価証券売買損益	△ 58,252,660	△ 104,705,748
売買益	2,008,871	2,342,119
売買損	△ 60,261,531	△ 107,047,867
(C) 信託報酬等	△ 2,866,573	△ 1,878,534
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 49,542,646	△ 84,242,546
(E) 前期繰越損益金	△ 123,708,365	△ 174,412,425
(F) 追加信託差損益金	△ 5,603,699	△ 8,469,650
(配当等相当額)	(21,819,434)	(22,926,506)
(売買損益相当額)	(△ 27,423,133)	(△ 31,396,156)
(G) 合計(D+E+F)	△ 178,854,710	△ 267,124,621
(H) 収益分配金	△ 7,889,465	△ 11,495,193
次期繰越損益金(G+H)	△ 186,744,175	△ 278,619,814
追加信託差損益金	△ 5,603,699	△ 8,469,650
(配当等相当額)	(21,819,434)	(22,926,506)
(売買損益相当額)	(△ 27,423,133)	(△ 31,396,156)
分配準備積立金	201,885,358	203,354,744
繰越損益金	△ 383,025,834	△ 473,504,908

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程(総額)」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程(総額)

項 目	第26期	第27期
(a) 経費控除後の配当等収益	8,709,976円	20,463,150円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0
(c) 収益調整金	21,819,434	22,926,506
(d) 分配準備積立金	201,064,847	194,386,787
(e) 当期分配対象額(a+b+c+d)	231,594,257	237,776,443
(f) 分配金	7,889,465	11,495,193
(g) 翌期繰越分配対象額(e-f)	223,704,792	226,281,250
(h) 受益権総口数	986,183,159口	957,932,760口

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ		
1 万 口 当 り 分 配 金	第26期	第27期
	80円	120円

●〈分配金再投資コース〉をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

《お知らせ》

■商号変更について

大和証券投資信託委託株式会社は、2020年4月1日付で、商号を「大和アセットマネジメント株式会社」に変更いたしました。

ダイワ・プレミアム・トラストーダイワ／ハリス US コンセントレイテッド・ケイマン
 日本円・クラス／豪ドル・クラス／ブラジル・レアル・クラス／
 米ドル・クラス／通貨セレクト・クラス

当ファンド（通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド -イーグルアイII- 予想分配金提示型 日本円・コース／豪ドル・コース／ブラジル・レアル・コース／米ドル・コース／通貨セレクト・コース）はケイマン籍の外国投資信託「ダイワ・プレミアム・トラストーダイワ／ハリス US コンセントレイテッド・ケイマン 日本円・クラス／豪ドル・クラス／ブラジル・レアル・クラス／米ドル・クラス／通貨セレクト・クラス」に投資しておりますが、以下の内容は一部の項目を除きすべてのクラスを合算しております。

（注）2020年5月28日時点で入手しうる直近の状況を掲載しております。

（米ドル建て）

貸借対照表
 2019年5月31日

資産	
投資資産の評価額（簿価 \$43,492,375）	\$ 45,882,782
現金	3,610
外国為替先渡契約による評価益	222,599
未収：	
配当	11,937
資産合計	46,120,928
負債	
外国為替先渡契約による評価損	56,093
未払：	
償還済み受益証券	227,699
専門家報酬	54,636
運用会社報酬	23,967
会計および管理会社報酬	3,875
保管会社報酬	3,673
為替運用会社報酬	1,322
名義書換代理人報酬	897
為替取引執行会社報酬	345
負債合計	372,507
純資産	\$ 45,748,421
純資産	
豪ドル・クラス	\$ 1,777,092
ブラジル・レアル・クラス	2,436,361
通貨セレクト・クラス	8,224,336
日本円・クラス	2,888,033
米ドル・クラス	30,422,599
	\$ 45,748,421

通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド－イーグルアイⅡ－ 予想分配金提示型

発行済み受益証券口数		
豪ドル・クラス		1,781,019
ブラジル・リアル・クラス		3,281,092
通貨セレクト・クラス		12,023,842
日本円・クラス		2,292,262
米ドル・クラス		21,489,223

受益証券1口当り純資産額		
豪ドル・クラス	\$	0.998
ブラジル・リアル・クラス	\$	0.743
通貨セレクト・クラス	\$	0.684
日本円・クラス	\$	1.260
米ドル・クラス	\$	1.416

損益計算書

2019年5月31日に終了した年度

投資収益		
配当収益（源泉税 \$198,075控除後）	\$	462,103
その他収益		37,324
投資収益合計		<u>499,427</u>
費用		
運用会社報酬		325,073
専門家報酬		56,906
会計および管理会社報酬		42,939
保管会社報酬		27,835
為替運用会社報酬		17,158
受託会社報酬		15,807
名義書換代理人報酬		10,827
為替取引執行会社報酬		1,840
登録料		780
費用合計		<u>499,165</u>
投資純利益		<u>262</u>
実現利益（損）および評価益（損）：		
実現利益（損）：		
証券投資		4,425,203
外国為替取引および外国為替先渡契約		(791,215)
純実現利益		<u>3,633,988</u>
評価益（損）の純変動：		
証券投資		(3,673,897)
外国為替換算および外国為替先渡契約		192,433
評価益（損）の純変動		<u>(3,481,464)</u>
純実現・純評価益		<u>152,524</u>
運用による純資産の純増	\$	<u><u>152,786</u></u>

(米ドル建て)

投資明細表
2019年5月31日

株数	有価証券の明細	純資産に 占める割合	評価額
	普通株 (94.4%)		
	英国 (3.4%)		
	ヘルスケア製品 (3.4%)		
21,779	LivaNova PLC		\$ 1,565,910
	英国合計 (簿価 \$1,907,956)		<u>1,565,910</u>
	米国 (91.0%)		
	自動車 (4.3%)		
58,825	General Motors Co.		<u>1,961,225</u>
	自動車部品 (3.2%)		
12,325	Lear Corp.		<u>1,467,045</u>
	銀行 (7.7%)		
59,075	Bank of America Corp.		1,571,395
31,165	Citigroup, Inc.		<u>1,936,905</u>
			<u>3,508,300</u>
	バイオテクノロジー (2.6%)		
3,965	Regeneron Pharmaceuticals, Inc.		<u>1,196,320</u>
	商業サービス (6.2%)		
15,583	Moody's Corp.		<u>2,849,819</u>
	総合金融サービス (3.6%)		
39,770	Charles Schwab Corp.		<u>1,654,830</u>
	食品 (4.4%)		
19,075	Post Holdings, Inc.		<u>2,004,783</u>
	ヘルスケアサービス (2.3%)		
8,540	HCA Healthcare, Inc.		<u>1,032,998</u>
	保険 (6.0%)		
53,360	American International Group, Inc.		<u>2,725,095</u>
	インターネット (21.8%)		
3,600	Alphabet, Inc. Class C		3,973,068
1,467	Booking Holdings, Inc.		2,429,675
8,300	Facebook, Inc. Class A		1,473,001
6,160	Netflix, Inc.		<u>2,114,605</u>
			<u>9,990,349</u>
	宿泊施設 (7.3%)		
37,064	Hilton Worldwide Holdings, Inc.		<u>3,315,004</u>
	建設機械・鉱山機械 (1.8%)		
6,765	Caterpillar, Inc.		<u>810,515</u>
	メディア (9.4%)		
8,259	Charter Communications, Inc. Class A		3,111,991
29,390	Comcast Corp. Class A		<u>1,204,990</u>
			<u>4,316,981</u>
	その他製造 (2.4%)		
116,201	General Electric Co.		<u>1,096,937</u>

通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド－イーグルアイⅡ－ 予想分配金提示型

株数	有価証券の明細	純資産に 占める割合	評価額
67,985	石油・ガス (1.2%) Centennial Resource Development, Inc. Class A		537,081
33,295	石油・ガスサービス (1.5%) National Oilwell Varco, Inc.		694,201
53,290	不動産 (5.3%) CBRE Group, Inc. Class A		2,435,353
	米国合計 (簿価 \$38,864,383)		41,596,836
	普通株合計 (簿価 \$40,772,339)		43,162,746
元本	短期運用 (5.9%) 米国 (5.9%) 定期預金 (5.9%) JP Morgan Chase & Co.		
\$2,720,036	1.64% due 2019/6/3		\$ 2,720,036
	定期預金合計		2,720,036
	米国合計 (簿価 \$2,720,036)		2,720,036
	短期運用合計 (簿価 \$2,720,036)		2,720,036
	投資総額 (簿価 \$43,492,375)	100.3%	\$ 45,882,782
	現金および他の資産を超過する負債	(0.3)	(134,361)
	純資産	100.0%	\$ 45,748,421

投資明細表のすべての有価証券は運用会社の最良の判断に基づいて有価証券の所在地ではなく、リスクの所在国によって分類されています。

2019年5月31日現在の豪ドル・クラスの外国為替先渡契約

買い	取引相手	契約金額	決済日	売り	契約金額	評価益	評価 (損)	評価益 / (損)
AUD	Citibank N. A.	2,566,401	2019/6/20	USD	1,802,675	\$ -	\$ (23,606)	\$ (23,606)

2019年5月31日現在のブラジル・リアル・クラスの外国為替先渡契約

買い	取引相手	契約金額	決済日	売り	契約金額	評価益	評価 (損)	評価益 / (損)
BRL	Citibank N. A.	9,690,947	2019/6/20	USD	2,452,544	\$ 19,319	\$ -	\$ 19,319

2019年5月31日現在の通貨セレクト・クラスの外国為替先渡契約

買い	取引相手	契約金額	決済日	売り	契約金額	評価益	評価 (損)	評価益 / (損)
IDR	Citibank N. A.	18,669,230,397	2019/6/20	USD	1,289,051	\$ 16,286	\$ -	\$ 16,286
INR	Citibank N. A.	93,215,208	2019/6/20	USD	1,330,552	4,647	-	4,647
MXN	Citibank N. A.	25,821,885	2019/6/20	USD	1,345,273	-	(32,487)	(32,487)
PHP	Citibank N. A.	67,547,892	2019/6/20	USD	1,290,251	3,117	-	3,117
RUB	Citibank N. A.	84,917,726	2019/6/20	USD	1,297,086	3,398	-	3,398
TRY	Citibank N. A.	10,519,386	2019/6/20	USD	1,646,104	140,910	-	140,910
						\$ 168,358	\$ (32,487)	\$ 135,871

2019年5月31日現在の日本円・クラスの外国為替先渡契約

買い	取引相手	契約金額	決済日	売り	契約金額	評価益	評価(損)	評価益/(損)
J P Y	Citibank N. A.	318,187,150	2019/6/20	U S D	2,899,442	\$ 34,922	\$ -	\$ 34,922

通貨の略称

AUD	-	豪ドル
BRL	-	ブラジル・レアル
IDR	-	インドネシア・ルピア
INR	-	インド・ルピー
JPY	-	日本円
MXN	-	メキシコ・ペソ
PHP	-	フィリピン・ペソ
RUB	-	ロシア・ルーブル
TRY	-	トルコ・リラ
USD	-	米ドル

ダイワ・マネーストック・マザーファンド

<補足情報>

当ファンド（通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド –イーグルアイⅡ– 予想分配金提示型）が投資対象としている「ダイワ・マネーストック・マザーファンド」の決算日（2019年12月9日）と、当ファンドの決算日が異なっておりますので、当ファンドの第27期の決算日（2020年5月28日）現在におけるダイワ・マネーストック・マザーファンドの組入資産の内容等を掲載いたしました。

■ダイワ・マネーストック・マザーファンドの主要な売買銘柄

2019年11月29日～2020年5月28日における主要な売買銘柄はありません。

■組入資産明細表

2020年5月28日現在、有価証券等の組み入れはありません。

ダイワ・マネーストック・マザーファンド

運用報告書 第10期（決算日 2019年12月9日）

（作成対象期間 2018年12月11日～2019年12月9日）

ダイワ・マネーストック・マザーファンドの運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

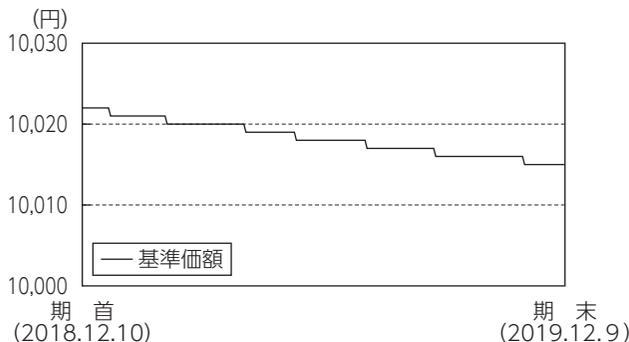
運用方針	安定した収益の確保をめざして安定運用を行ないます。
主要投資対象	円建ての債券
株式組入制限	純資産総額の10%以下

大和投資信託

Daiwa Asset Management

大和証券投資信託委託株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

■当作成期中の基準価額と市況等の推移



年 月 日	基準 価 額		公 社 債 組 入 比 率
	騰 落 率	騰 落 率	
(期首)2018年12月10日	円	%	%
	10,022	-	-
12月末	10,022	0.0	-
2019年1月末	10,021	△0.0	-
2月末	10,020	△0.0	-
3月末	10,020	△0.0	-
4月末	10,019	△0.0	-
5月末	10,018	△0.0	-
6月末	10,018	△0.0	-
7月末	10,017	△0.0	-
8月末	10,017	△0.0	-
9月末	10,016	△0.1	-
10月末	10,016	△0.1	-
11月末	10,015	△0.1	-
(期末)2019年12月9日	10,015	△0.1	-

(注1) 騰落率は期首比。
 (注2) 公社債組入比率は新株予約権付社債券(転換社債券)および債券先物を除きます。
 (注3) 当ファンドは、安定した収益の確保をめざして安定運用を行っており、ベンチマークおよび参考指数はありません。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：10,022円 期末：10,015円 騰落率：△0.1%

【基準価額の主な変動要因】

短期的国債やコール・ローン等の利回りがマイナス圏で推移したことなどから、基準価額は下落しました。

◆投資環境について

○国内短期金融市況

当作成期を通じて、日銀は長短金利操作付き量的・質的金融緩和を維持しました。この金融政策を背景に、国庫短期証券(3カ月物)の利回りおよび無担保コール翌日物金利はマイナス圏で推移しました。

◆前作成期末における「今後の運用方針」

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

◆ポートフォリオについて

流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行いました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

《今後の運用方針》

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

■1万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料	-円
有価証券取引税	-
その他費用 (その他)	1 (1)
合 計	1

(注1) 費用の項目および算出法については前掲の「1万口当りの費用の明細」の項目の概要をご参照ください。

(注2) 項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

■売買および取引の状況

公 社 債

(2018年12月11日から2019年12月9日まで)

国 内	買 付 額 千円	売 付 額 千円

(注1) 金額は受渡し代金(経過利子分は含まれておりません)。

(注2) ()内は償還による減少分、上段の数字には含まれておりません。

(注3) 単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄

公 社 債

(2018年12月11日から2019年12月9日まで)

銘	買 付		売 付	
	柄	金 額 千円	柄	金 額 千円
801 国庫短期証券 2019/3/18		250,003		

(注1) 金額は受渡し代金(経過利子分は含まれておりません)。

(注2) 単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

当作成期末における有価証券等の組み入れはありません。

■投資信託財産の構成

2019年12月9日現在

項目	当 期 末		
	評 価 額	比	率
	千円		%
コール・ローン等、その他	103,888,808		100.0
投資信託財産総額	103,888,808		100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2019年12月9日現在

項目	当 期 末
(A) 資産	103,888,808,252円
コール・ローン等	103,888,808,252
(B) 負債	200,442,764
未払解約金	200,000,000
その他未払費用	442,764
(C) 純資産総額(A - B)	103,688,365,488
元本	103,532,314,258
次期繰越損益金	156,051,230
(D) 受益権総口数	103,532,314,258口
1口当り基準価額(C / D)	10,015円

* 期首における元本額は40,969,233,796円、当作成期間中における追加設定元本額は198,584,973,661円、同解約元本額は136,021,893,199円です。

* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額は、ロボット・テクノロジー関連株ファンド - ロボテック-947,268円、ダイワ/ミレリアセット・インド株式ファンド - インドの匠-29,910,270円、ワールド・フィンテック革命ファンド (為替ヘッジあり) 998円、ワールド・フィンテック革命ファンド (為替ヘッジなし) 998円、新興国ソブリン・豪ドルファンド (毎月決算型) 999円、新興国ソブリン・ブラジルリアルファンド (毎月決算型) 999円、新興国ソブリン・ファンド (為替ヘッジあり/毎月決算型) 999円、U S短期ハイ・イールド社債ファンド (為替ヘッジあり/毎月決算型) 102,434円、ロボット・テクノロジー関連株ファンド - ロボテック (為替ヘッジあり) 39,849円、ロボット・テクノロジー関連株ファンド (年1回決算型) - ロボテック (年1回) - (為替ヘッジあり) 3,985円、iFreeレバレッジ S & P 500 995,814円、iFreeレバレッジN A S D A Q 100 29,943,109円、米国4資産リスク分散ファンド (年2回決算型) 658,945円、ダイワ上場投信-日経平均レバレッジ・インデックス3,526,781,327円、ダイワ上場投信-日経平均ダブルインバース・インデックス6,932,995,956円、ダイワ上場投信-TOP 1 Xレバレッジ (2倍) 指数1,154,855,756円、ダイワ上場投信-TOP 1 Xダブルインバース (-2倍) 指数1,136,478,065円、ダイワ上場投信-日経平均インバース・インデックス46,620,451,844円、ダイワ上場投信-TOP 1 Xインバース (-1倍) 指数10,870,537,799円、ダイワ上場投信-J P X日経400レバレッジ・インデックス413,400,603円、ダイワ上場投信-J P X日経400インバース・インデックス811,328,174円、ダイワ上場投信-J P X日経400ダブルインバース・インデックス401,731,588円、ダイワ米国投資法人債ファンド (為替ヘッジあり) 2016-07 997円、ダイワ米国投資法人債ファンド (部分為替ヘッジあり) 2016-07 997円、ダイワ米国投資法人債ファンド (部分為替ヘッジあり) 2017-06 997円、ダイワ米国投資法人債ファンド (部分為替ヘッジあり) 2017-06 997円、ダイワ米国投資法人債ファンド (為替ヘッジあり) 2016-10 997円、ダイワ米国投資法人債ファンド (部分為替ヘッジあり) 2016-10 997円、先進国トータルリターン戦略ファンド (リスク抑制型/適格機関投資家専用) 6,289,387,976円、ダイワ日本株式ベア・ファンド (適格機関投資家専用) 10,596,789,950円、低リスク型アロケーションファンド (金利トレンド判断付き/適格機関投資家専用) 179,433,743円、ダイワ日本国債15-20年ラダー型ファンド・マネーポートフォリオ - S L T

レード-186,241,301円、ダイワ/モルガン・スタンレー新興4カ国不動産関連ファンド-成長の植音 (つちおと) -5,020,480円、ダイワ/ハリス世界厳選株ファンド・マネー・ポートフォリオ339,840,055円、ダイワ・アセアン内需関連株ファンド・マネー・ポートフォリオ8,383,335円、低リスク型アロケーションファンド (適格機関投資家専用) 13,958,125,625円、通貨選択型ダイワ/ミレリアセット・グローバル・グレートコンシューマー株式ファンドII 豪ドル・コース (毎月分配型) 595,106円、通貨選択型ダイワ/ミレリアセット・グローバル・グレートコンシューマー株式ファンドII ブラジル・レリア・コース (毎月分配型) 987,373円、通貨選択型ダイワ/ミレリアセット・グローバル・グレートコンシューマー株式ファンドII 通貨セレクト・コース (毎月分配型) 494,581円、ダイワU S短期ハイ・イールド社債ファンド (為替ヘッジあり/年1回決算型) 9,957円、ダイワ米国バンクローン・オープン (為替ヘッジあり) 997円、ダイワ米国バンクローン・オープン (為替ヘッジなし) 997円、ダイワ新グローバル・ハイブリッド証券ファンド (為替ヘッジあり) 997円、ダイワ新グローバル・ハイブリッド証券ファンド (為替ヘッジなし) 997円、ダイワ/ミレリアセット亜細亜株式ファンド9,958,176円、<奇数月定額払出型>ダイワ先進国リートα 為替ヘッジあり49,806円、<奇数月定額払出型>ダイワ先進国リートα 為替ヘッジなし49,806円、通貨選択型ダイワ/ミレリアセット・グローバル好配当株α (毎月分配型) 米ドル・コース1,989,053円、通貨選択型ダイワ/ミレリアセット・グローバル好配当株α (毎月分配型) ブラジル・レリア・コース2,978,118円、通貨選択型ダイワ/ミレリアセット・グローバル好配当株α (毎月分配型) 通貨セレクト・コース1,691,241円、ロボット・テクノロジー関連株ファンド (年1回決算型) - ロボテック (年1回) -100,588円、ダイワ先進国リートα 為替ヘッジあり (毎月分配型) 399,083円、ダイワ先進国リートα 為替ヘッジなし (毎月分配型) 99,771円、通貨選択型ダイワ先進国リートα 円ヘッジコース (毎月分配型) 399,083円、通貨選択型ダイワ先進国リートα 通貨セレクトコース (毎月分配型) 99,771円、ダイワ/ミレリアセット・グローバル・グレートコンシューマー株式ファンド (為替ヘッジあり) 1,091,429円、ダイワ/ミレリアセット・グローバル・グレートコンシューマー株式ファンド (為替ヘッジなし) 315,004円、ダイワ/ミレリアセット・アジア・セクターリーダー株ファンド10,009,811円、ダイワ日本株ストラテジーα (通貨選択型) - ジャパン・トリプルリターンズ- 日本円・コース (毎月分配型) 398,764円、ダイワ日本株ストラテジーα (通貨選択型) - ジャパン・トリプルリターンズ- 豪ドル・コース (毎月分配型) 99,691円、ダイワ日本株ストラテジーα (通貨選択型) - ジャパン・トリプルリターンズ- ブラジル・レリア・コース (毎月分配型) 398,764円、ダイワ日本株ストラテジーα (通貨選択型) - ジャパン・トリプルリターンズ- 通貨セレクト・コース (毎月分配型) 1,993,820円、通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド - イーグルアイII- 予想分配金提示型 日本円・コース300,273円、通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド - イーグルアイII- 予想分配金提示型 日本円・コース200,861円、通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド - イーグルアイII- 予想分配金提示型 ブラジル・レリア・コース300,273円、通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド - イーグルアイII- 予想分配金提示型 米ドル・コース1,999,177円、通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド - イーグルアイII- 予想分配金提示型 通貨セレクト・コース505,900円です。

* 当期末の計算口数当りの純資産額は10,015円です。

■損益の状況

当期 自2018年12月11日 至2019年12月9日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	△ 46,990,800円
受取利息	413,173
支払利息	△ 47,403,973
(B) その他費用	△ 10,190,474
(C) 当期損益金(A + B)	△ 57,181,274
(D) 前期繰越損益金	90,073,869
(E) 解約差損益金	△254,373,622
(F) 追加信託差損益金	377,532,257
(G) 合計(C + D + E + F)	156,051,230
次期繰越損益金(G)	156,051,230

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。